



GX-9901-DX GUNDAM DOUBLE X

SATELLITE SYSTEM LOADING MOBILE SUIT



GX-9901-DX
「ガンダムダブルエックス」
1/100スケール
マスターグレードモデル

GX-9901-DX GUNDAM DOUBLE X



GX-9901-DX
「ガンダムダブルエックス」
1/100スケール
マスターグレードモデル

BANDAI 2015 MADE IN JAPAN ※画像の完成品は、塗装してあります。

GUNDAM.INFO Search
www.gundam.info
バンダイホビーサイト | www.bandai-hobby.net/
Any items accessed by your access method and connection to the website are your own responsibility.
ホームページにアクセスする際の閲覧履歴等の情報はご自身となります。



0194873

GX-9901-DX GUNDAM DOUBLE X

※劇中の設定です。

GX-9901-DX ガンダムDX(ダブルエックス)は、「第7次宇宙戦争」終結から15年後、新地球連邦軍がガンダムXよりもさらに強力なMS(モビルスーツ)として密かに建造していた機体である。最大の特徴は、ガンダムXが装備する“サテライトシステム”をさらに強化した“サテライトシステムMK-II”の搭載で、背部に展開するリフレクターを大型化した新たな集光、放熱システムの採用によって、冷却効率の向上やエネルギー容量の増強を実現しており、その威力は従来の“サテライトキャノン”の数倍に達し、砲身も連装タイプの“ツインサテライトキャノン”と換装され、連射すら可能となっている。さらに、砲撃モード時に砲身をマニピュレーターで支える必要が無いよう改良されており、MS単機としての戦闘能力も大幅に改善されている。その一方で、新連邦軍はサテライトシステムのアクティベート(初期起動)に必須のF(フラッシュ)システムに対応したNT(ニュータイプ)能力を持つ人材を確保できなかったため、本機は第7次宇宙戦争時にジャミル・ニートが搭乗していたガンダムXのデータを回収して建造されたワンオフモデルとなっている。そのため、実質的にロストテクノロジーと化していたGビットとの連携機能も維持されることとなった。また、戦争当時に開発中の各種オプション兵装との連携やリンク機能も確保されており、さらなる発展性も期待されていた。かくしてガンダムDXは、15年前の機体をベースにしてはいるものの、かつての工業力を喪失した戦後のMSの中において、最も強力な機体のひとつとなっている。この機体は、旧連邦の後継組織である“政府再建委員会”が、諜報統括官アイムザットの擁する人工島ゾンダー・エプタにおいて開発していたが、フリーデンとの戦闘でガロード・ランに奪取され、開発拠点であったゾンダー・エプタもサテライトキャノンによって蒸発してしまったため、後継機開発もほぼ不可能となった。このガンダムDX強奪をひとつの契機として、それまで秘密裏に活動していた政府再建委員会は、ブラッドマンを総司令官として新連邦政府樹立を宣言することとなった。



D.O.M.E ("Depths Of Mind Elevating")

D.O.M.E(ドーム)とは、月面に建造されたSMW(スーパーマイクロウェーブ)送電設備の呼称であり、サテライトシステムの根幹をなす施設全体をも意味する。その実体は、FNT(ファーストニュータイプ)を遺伝子レベルまで解体システムに組み込んだ装置であり、施設そのものがFNTであったと言える。旧連邦軍が構築した汎地球規模の大量破壊システムとしての機能は喪失したが、この施設周辺だけはビットMSによる自動防衛機構が健在であり、戦後は新連邦軍も宇宙革命軍も近寄れない不可侵領域と化していた。それを実行していたのは、肉体を失ってもなお存在するFNTと呼ばれる者の意志であった。彼によれば、NTとは幻想であり、Fシステムやビット兵器を稼働させる力は単なる力に過ぎず、新たな未来や可能性を切り開くのはあくまで人の意志であるという。ガロードとティファ、そしてジャミル、ランスロー、カリス、また、新連邦、革命軍の指導者たちを前にそう告げると、“彼”は静かに去っていった。



ニュータイプとは・・・幻。

「ニュータイプは幻想。人を超えた力と人の革新は別のこと。ニュータイプを求めさすう時代は終わった。君たちは新しい未来を創っていかねばいけない。」自らを「D.O.M.E」と名乗ったそれは、ガロードたちや新連邦、革命軍の指導者たちにそう告げるのだった。

STORY ストーリー

第7次宇宙戦争終結から15年。地球環境はようやく安定期に入りつつあった。しかし、社会秩序は依然として崩壊したままであり、わずかな物資を奪い合う弱肉強食が常態化していた。そんな中において、人々は強く生き抜こうと歯を食いしばり、復興の光もほの見えるようになっていた。その一方、崩壊したはずの旧連邦は政府再建委員会の名の下に軍の再編を押し進め、宇宙革命軍もまた、残された資材や施設を独占して軍備の増強に余念がなかった。ティファを狙うNT狩りやゾンダー・エプタを巡る策動はその一端に過ぎなかったのだ。かくして新連邦の樹立、宇宙革命軍によるリア作戦の遂行など、地球圏は再び混乱の時を迎えようとしていた……。

PILOT パイロット

さらわれたティファを奪回すべく乗り込んだ人工島ゾンダー・エプタにおいて、ジャミル、エニル、カトックらとフリーデンのメンバーを巻き込んだ争奪戦を経て、ガンダムDXのパイロットとなり、再び地球を覆い始めた戦乱の渦中に身を投じることとなる。

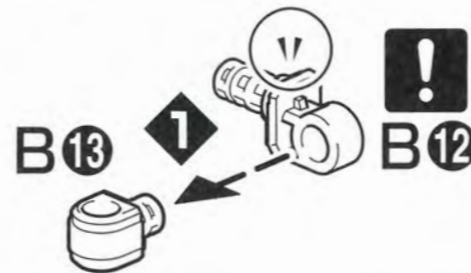
ガロード・ラン



組み立て前の基本説明

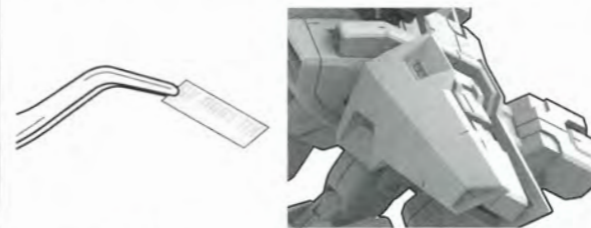
部品の向きに注意してください

※組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



マーキングシールの貼りかた

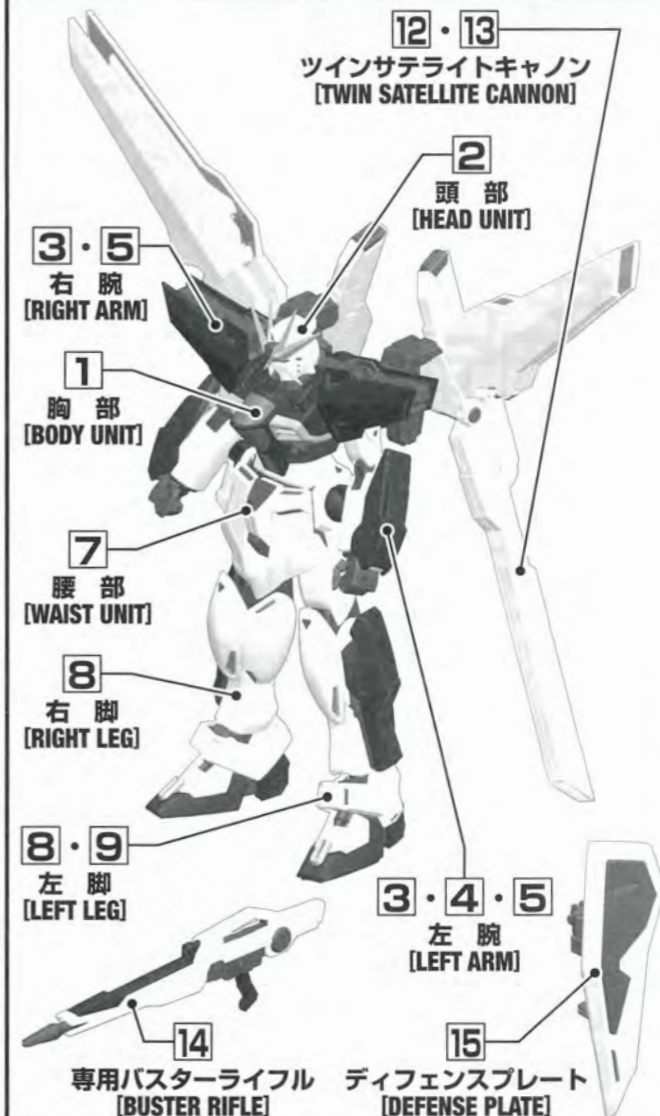
①23ページを参照して、ピンセット等でつまみ、マーキングシールを貼ります。



②浮いている部分は指等で押さえます。

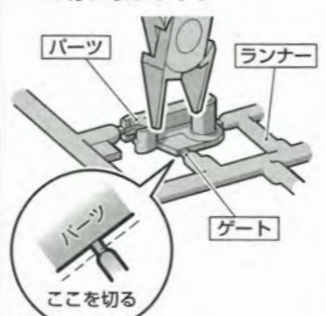


説明書をよく読んで完成させましょう

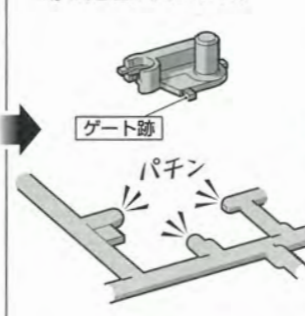


パーツの切り取りかた

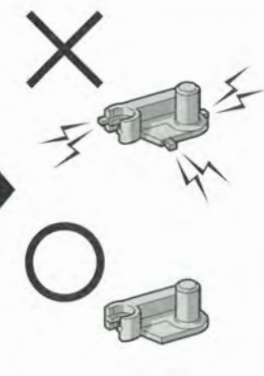
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくしたところでゲート跡の処理に入ります。



③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



△ 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が悪く飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

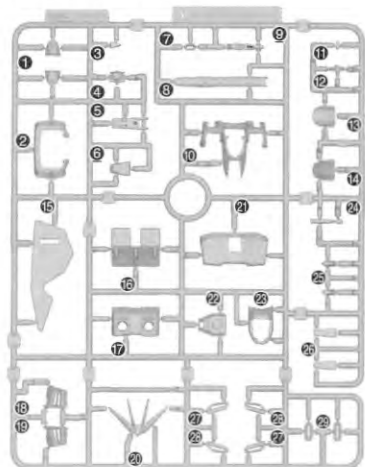
〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

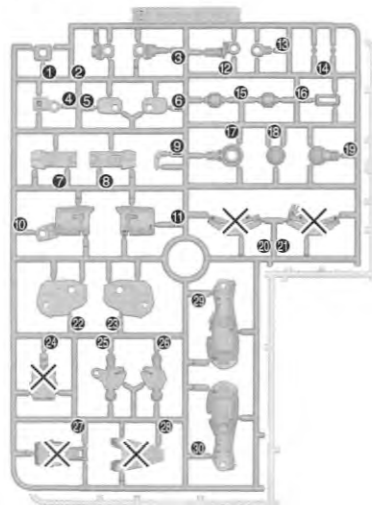
パーツリスト

(X印は使用しないパーツです。)

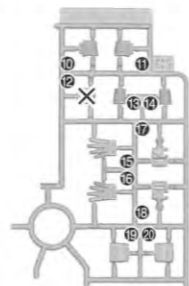
Aパーツ(イロプラ)
(スチロール樹脂: PS)



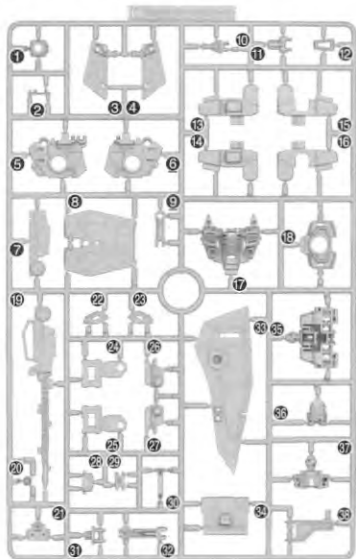
Bパーツ(グレー) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



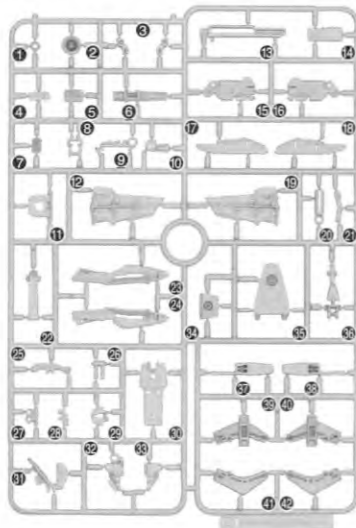
C1パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



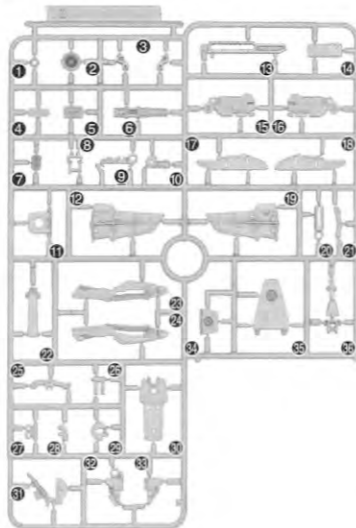
Dパーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



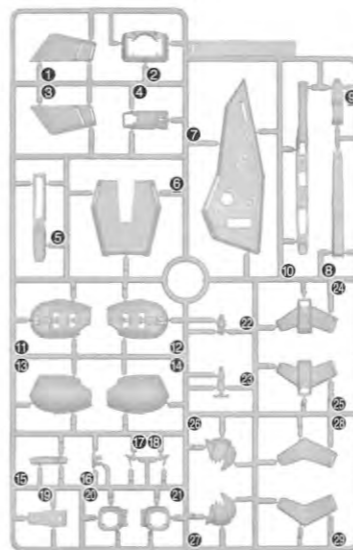
E1パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



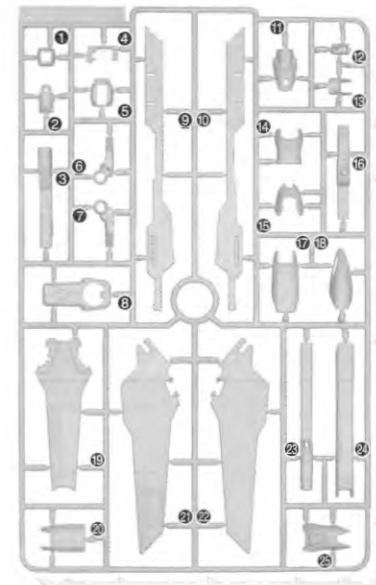
E2パーツ(グレー)
(スチロール樹脂: PS)



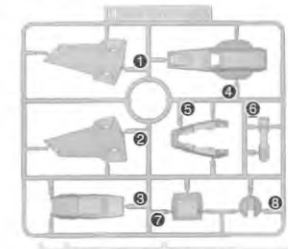
Fパーツ(ホワイト)
(スチロール樹脂: PS)



Gパーツ(ホワイト) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



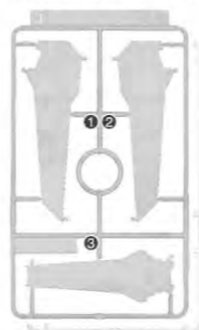
Hパーツ(ダークブルー) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



Iパーツ(ゴールド) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



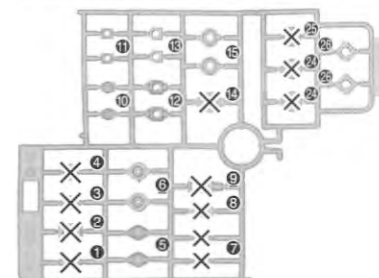
Jパーツ(クリアイエロー) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



Lパーツ(クリアグリーン) (×2)
(スチロール樹脂: PS)



PC-130C(グレー) (ポリエチレン: PE)



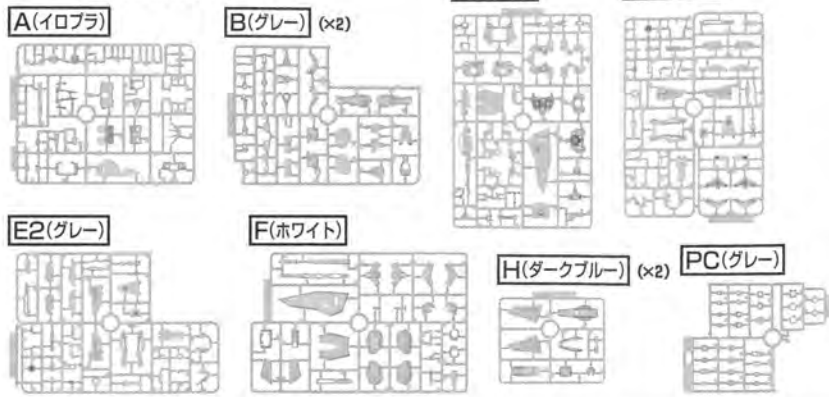
カラーシール……………1枚
マーキングシール……………1枚
ミラーシート……………1枚

※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

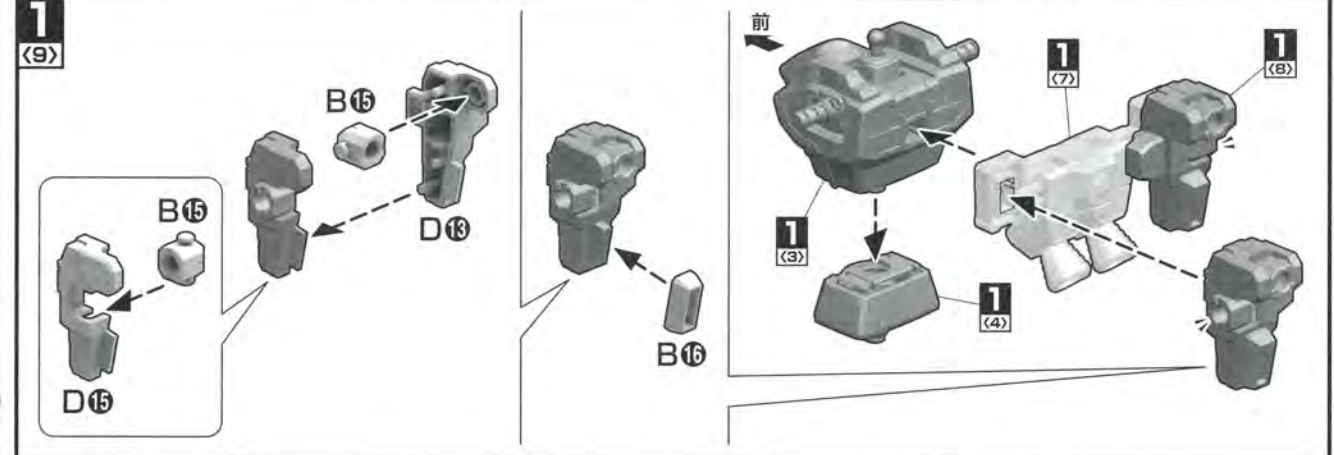
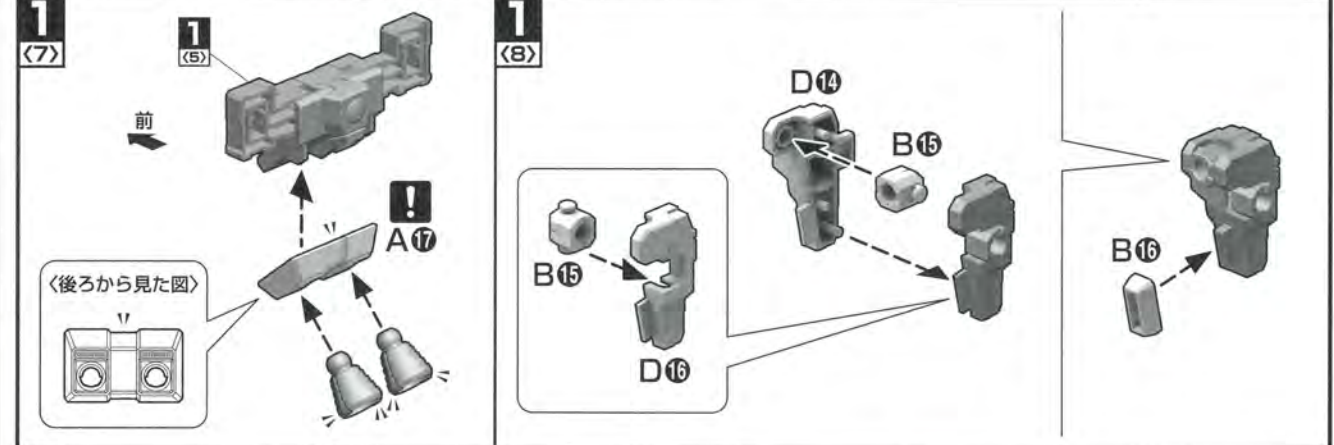
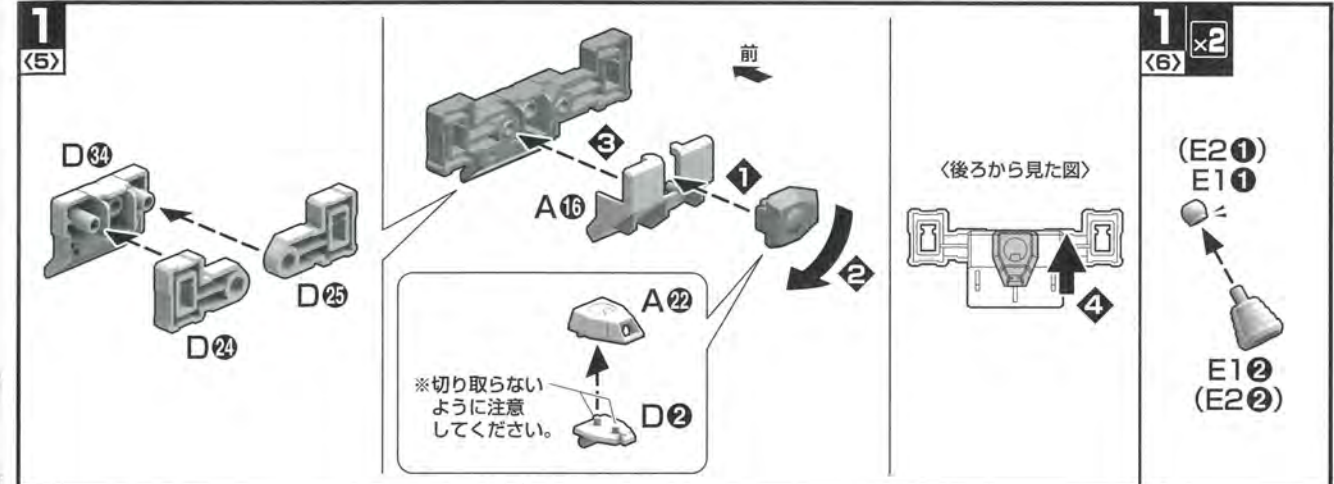
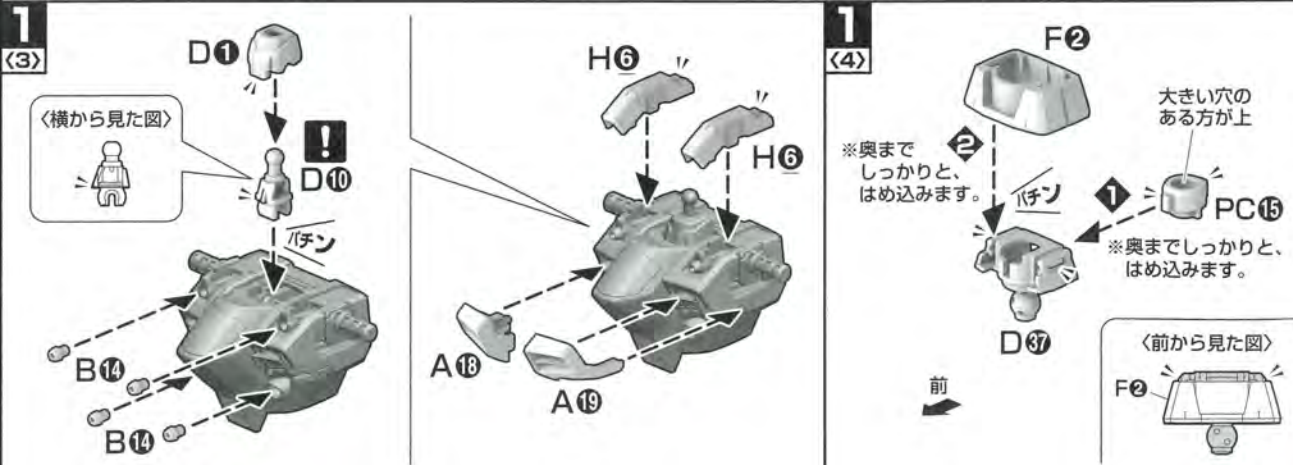
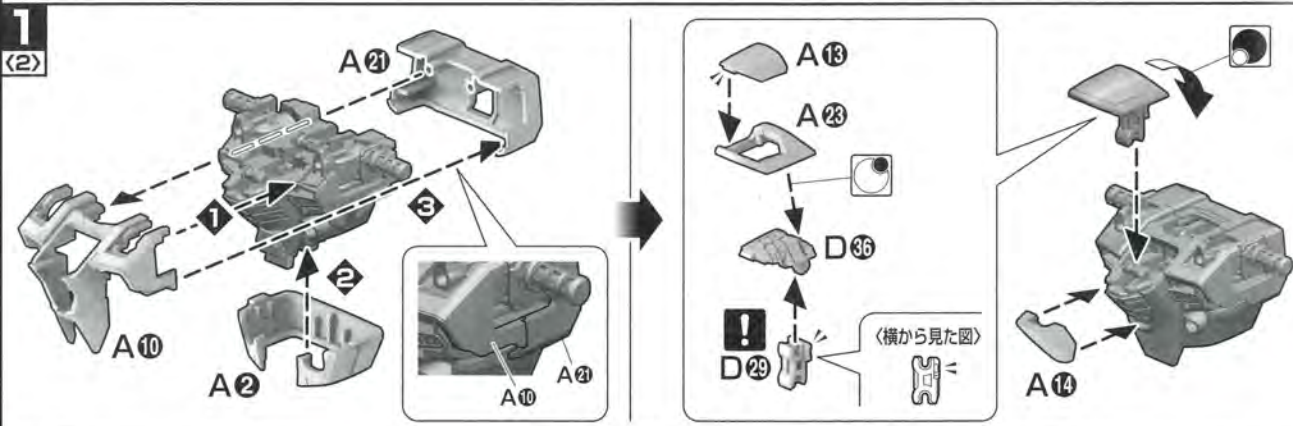
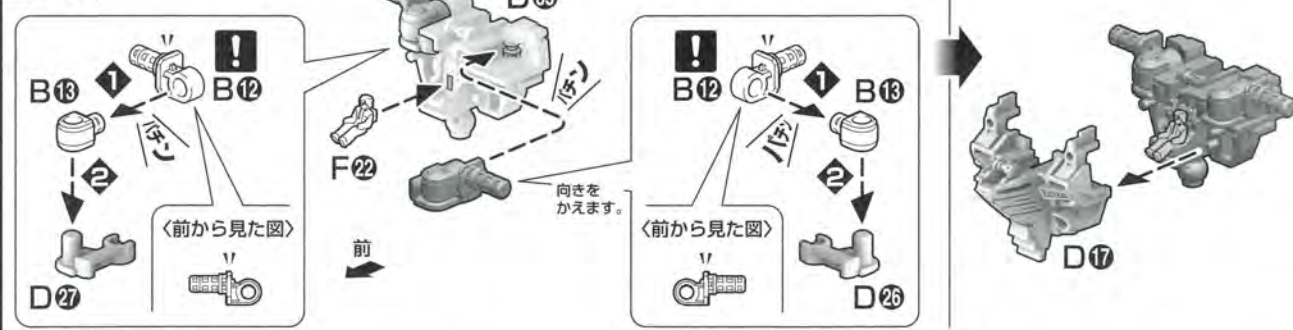
1 BODY UNIT



・組立1で使用するパーツ

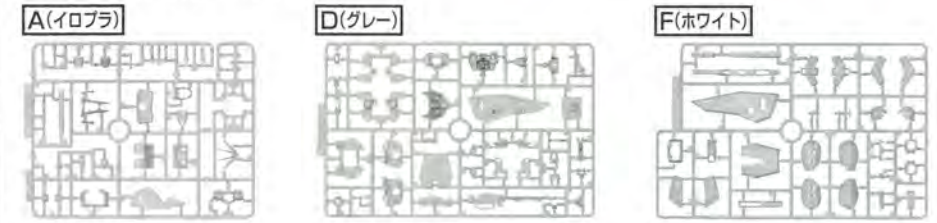


1 (胸部の組立) <1> BODY UNIT

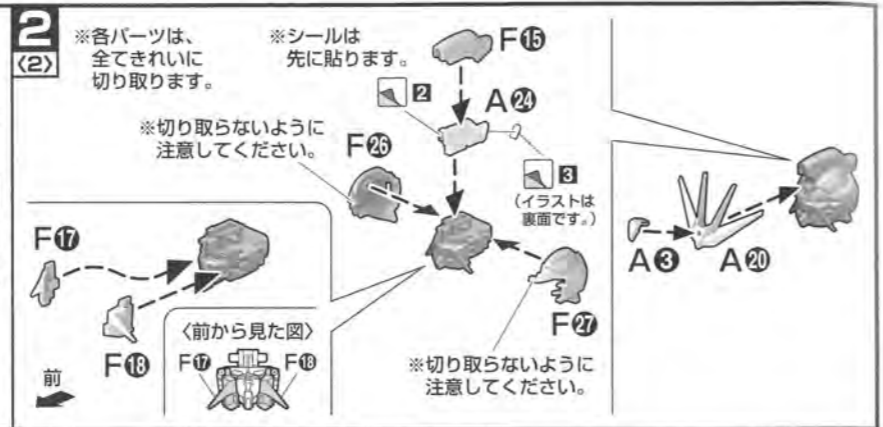
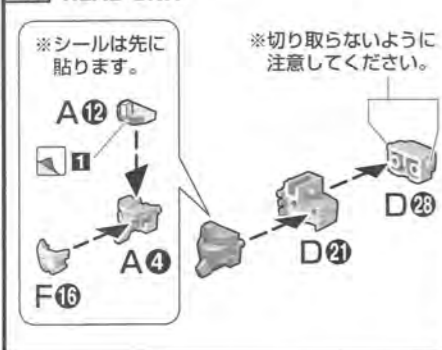


2 HEAD UNIT

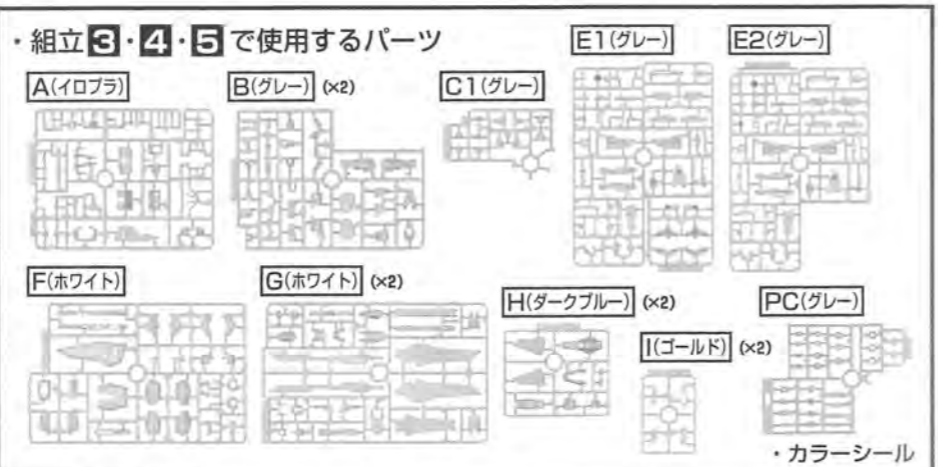
・組立2で使用するパーツ



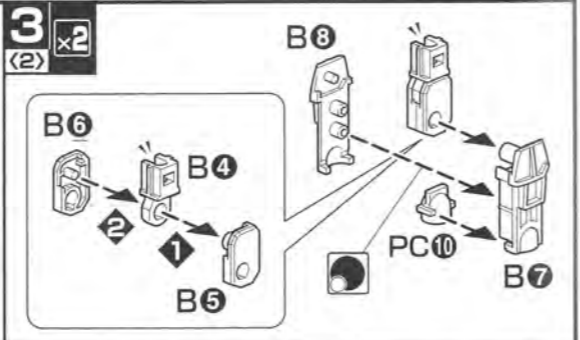
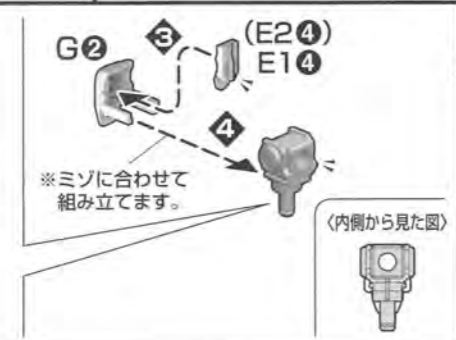
2 [頭部の組立]
(1) HEAD UNIT



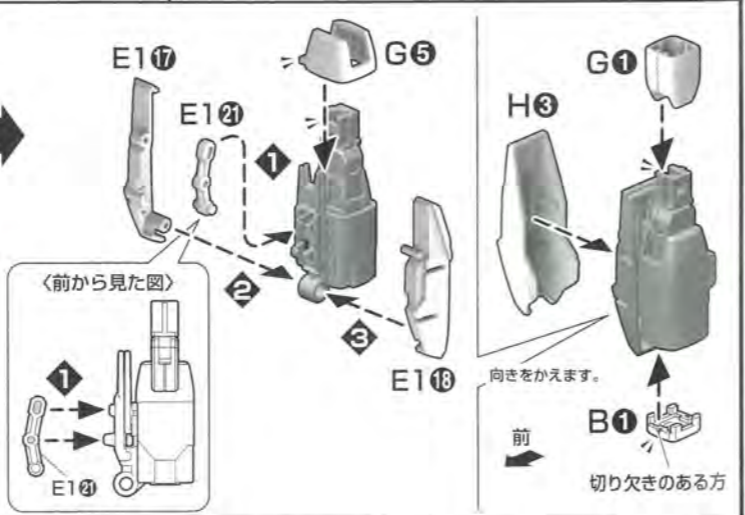
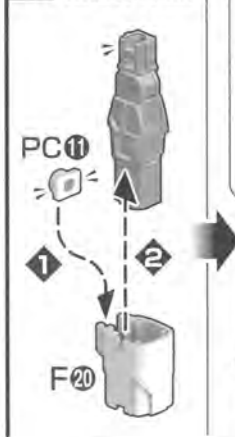
3 4 5 ARM UNIT



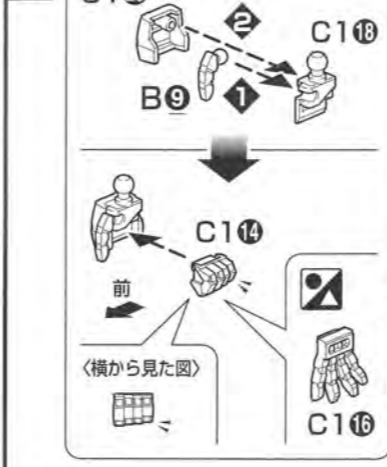
3 [腕部の組立]
(1) ARM UNIT



3 [右腕の組立]
(3) RIGHT ARM



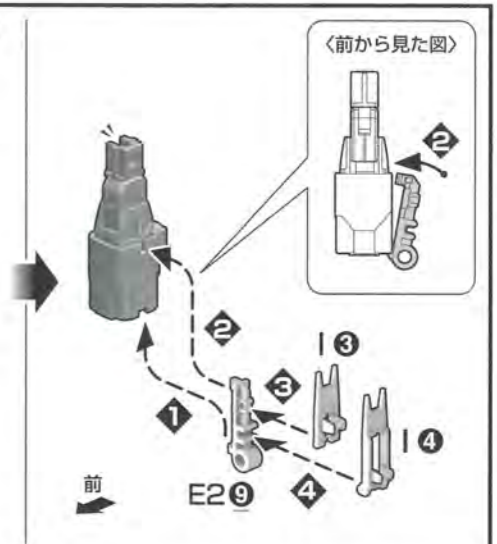
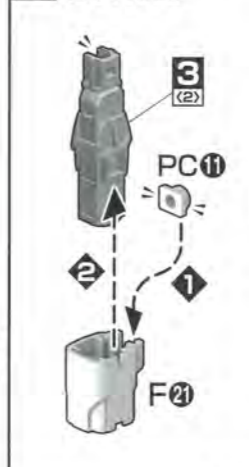
3 [4]
(4)



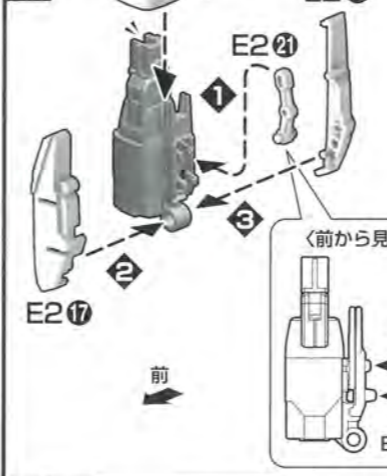
3 [12]



4 [左腕の組立]
(1) LEFT ARM



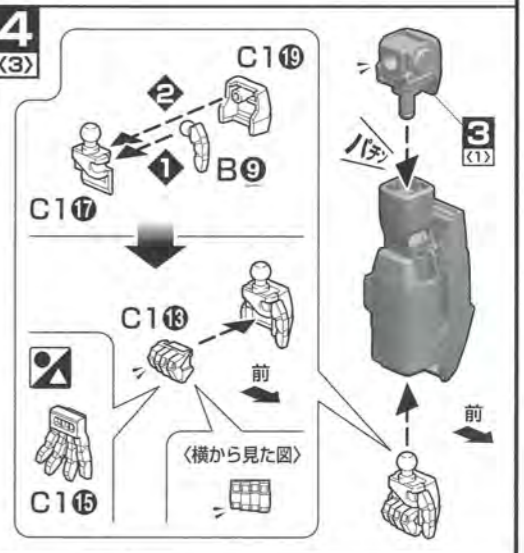
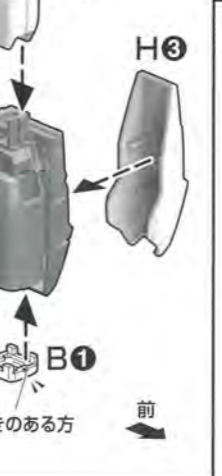
4 [2]



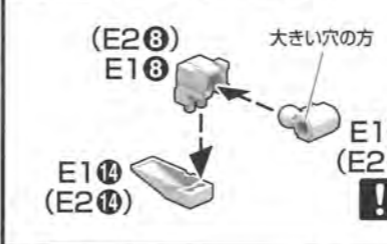
4 [1]



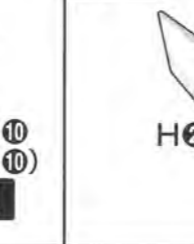
4 [3]



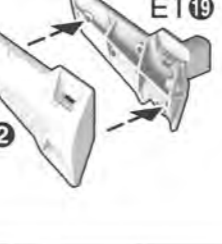
5 [2]
(1) SHOULDER ARMOR



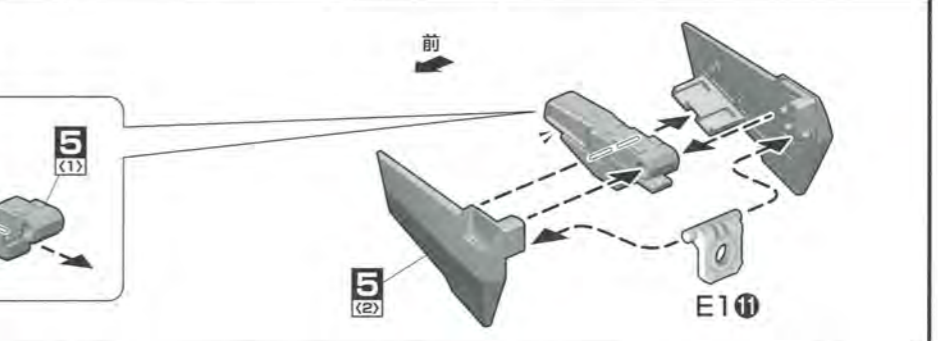
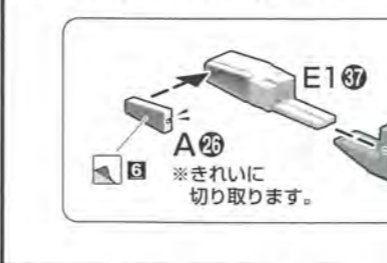
5 [2]



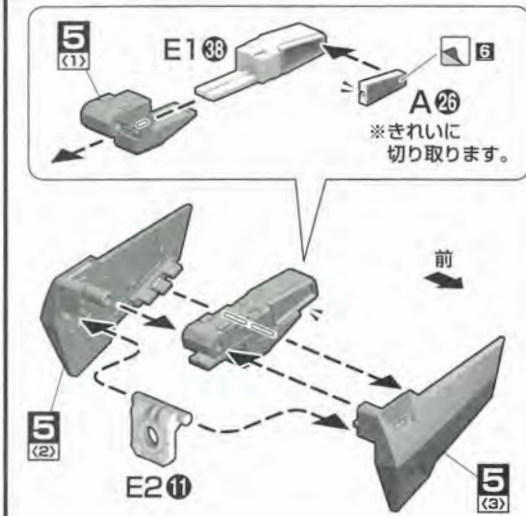
5 [3]



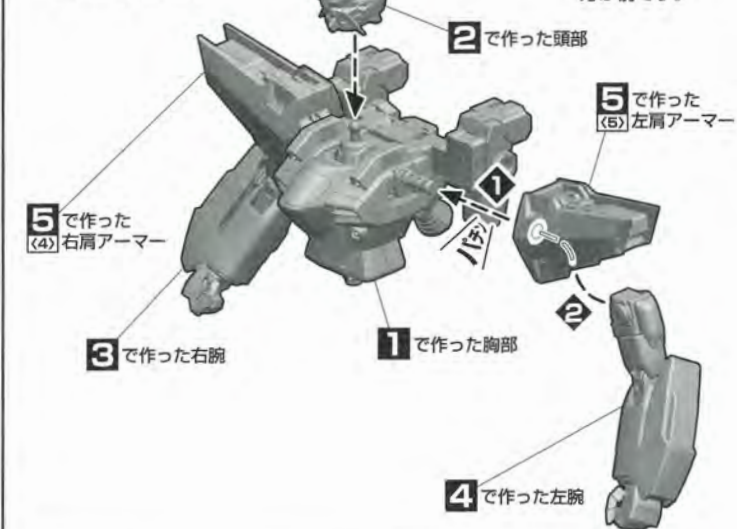
5 [4]
(4) RIGHT SHOULDER ARMOR



5 [左肩アーマーの組立]
LEFT SHOULDER ARMER



6 [上半身の完成]
UPPER BODY



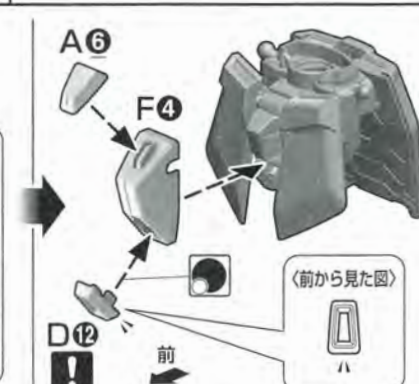
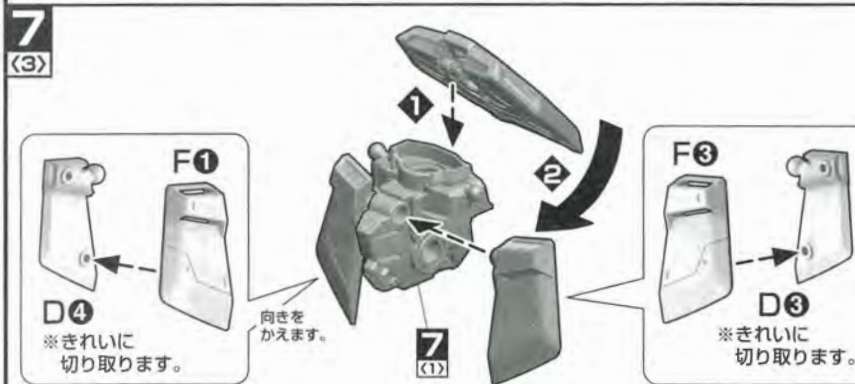
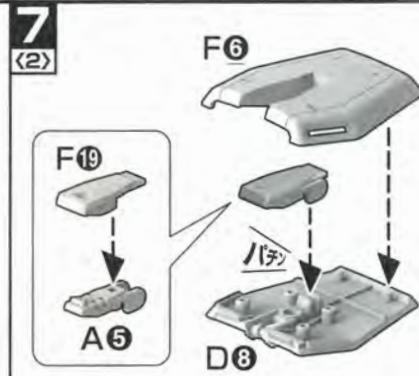
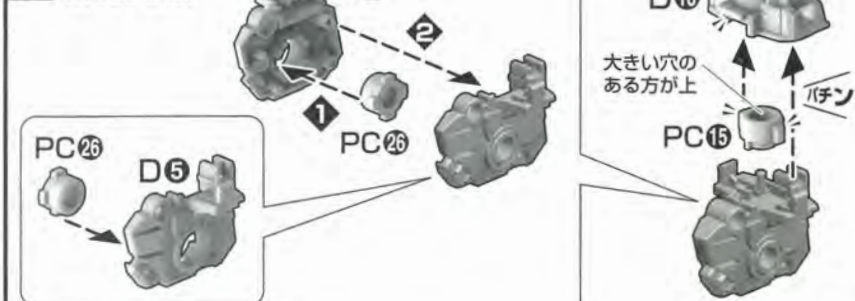
7 WAIST UNIT



・組立7で使用するパーツ



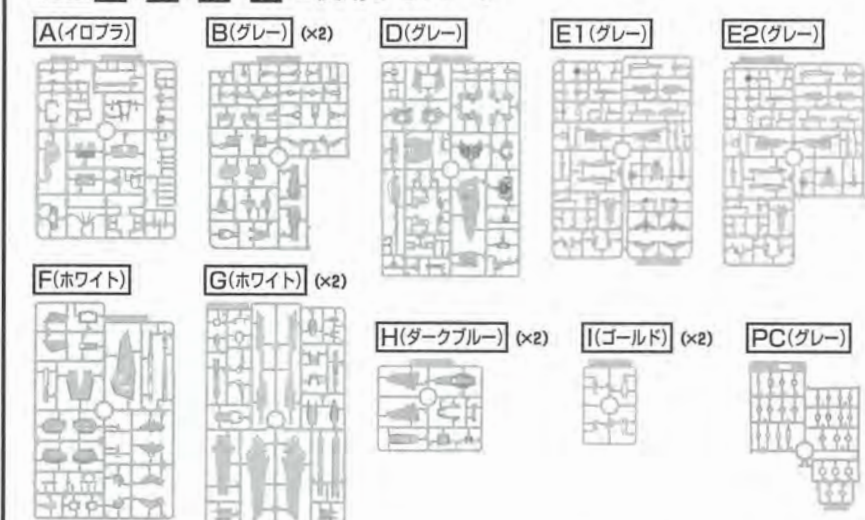
7 [腰部の組立]
WAIST UNIT



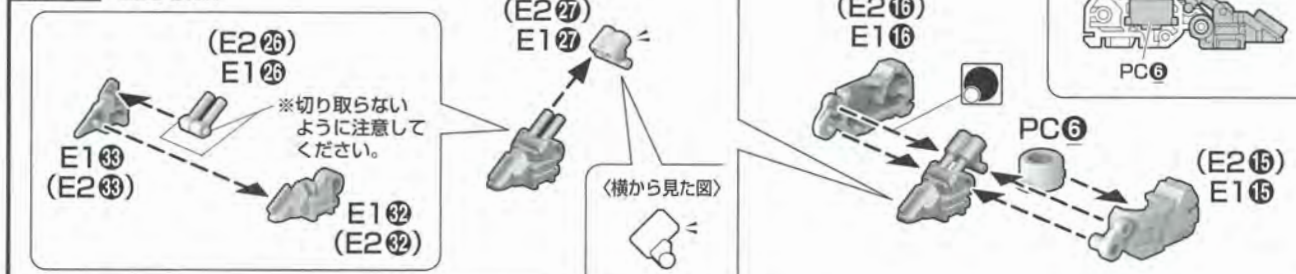
8 9 10 LEG UNIT



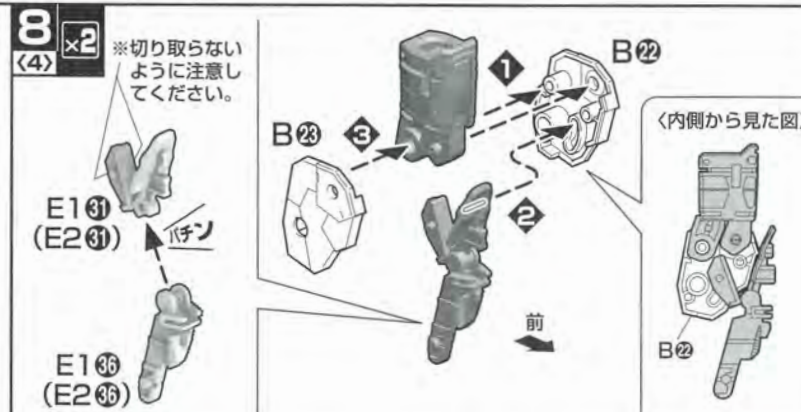
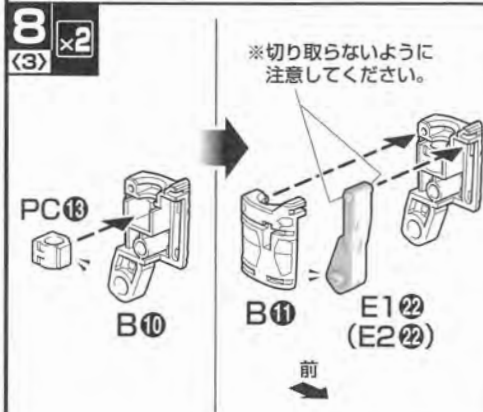
・組立8・9・10・11で使用するパーツ



8 [脚部の組立]
LEG UNIT



8 [脚部の組立]
LEG UNIT



AFTER WAR GUNDAM X



あれはGファルコン!

ティファを奪還すべく、亡命者に成り済ましてクラウド9に向かおうとするガロードだったが、“ガンダム”に疑念を抱いた革命軍のザイデル総統は、DXもろともガロードを捕らえるべくMS部隊を差し向ける。指揮を執るのは、かつてジャミルとも戦った元NTのランスロー・ダーウェルだった。ガロードは、入港間際にDXを駆って脱出するが、初めての無重力に戸惑いまともに反撃できずにいた。「見せてもらおう。戦後のガンダムとやらを」ランスローは新型MSクラウドで出撃する。「やっと慣れてきたぜ、今度はさっきのように行かないぞ!!」数刻後、ガロードは見違えるような動きでMS部隊を振り切ろうとしていた。「バカな、たったこれだけで宇宙戦闘の技術を会得したのか!」ガロードの技量を素直に認めたランスローは、クラウドでDXの前に立ち上がる。[遊びは終わりだ]圧倒的な力の差を見せつけ、DXを撃破寸前まで追い込むランスロー。「あれは、Gファルコン!」その時、そこに15年前に開発された旧連邦軍の支援戦闘機Gファルコンが出現し、DXを連れ去っていったのだ。

月が見えた!

宇宙革命軍の掃討作戦を逃れ、無人のレスキューステーションに逃げ込んだガロードは、そこでペーラ・シスから革命軍による地球侵略作戦“ダリア作戦”の全容を聞く。ペーラは革命軍に反抗する地下組織“サテリコン”のメンバーであり、戦災孤児だったペーラにとってサテリコンは家族同然の存在だったのだ。かくしてダリア作戦決行の時がきた。「よおし、……月が見えた!」月が視認できる射程ギリギリまで距離を稼いだガロードは、即座にサテライトシステムを起動する。そしてザイデルがティファを伴って座乗する革命軍艦隊旗艦のすぐ側をサテライトキャノンのビームで薙ぎ払い、ティファの引き渡しを迫った。連射すら可能なDXの威力を目の当たりにしたザイデルは、やむを得ずティファを解放するが、彼女の無事を確認したガロードは約束を破ってコロニーレーザーを直撃する。「嘘つきで悪かったな、総統閣下のおっさんよ」かくしてダリア作戦を打ち破ったガロードたちは、Gファルコンの大気圏突入能力を活かして地球へ帰還しようとするが、その前に新連邦の部隊を引き連れたフロスト兄弟が立ちちはだかった!!



※画像はイメージです。

PAINTING [塗装]

GUNDAM DOUBLE X 指定色

※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

<p>本体などの塗装色 ホワイト(100%) +ネービーブルー(少量)</p>	<p>肩などの塗装色 インディブルー(45%) + ブラック(25%) +ホワイト(15%) + レッド(15%)</p>	<p>腹部などの塗装色 モンザレッド(100%)</p>
<p>頭部アンテナなどの塗装色 イエロー(60%) + ホワイト(35%) + オレンジ(5%)</p>	<p>関節などの塗装色 グレー(80%) + ブラック(20%)</p>	<p>エネルギーラジエータープレート ゴールド部の塗装色 ゴールド(100%) の上からクリアイエロー(100%)</p>

※ここに掲載している情報は2015年3月現在のものです。

FIGURE ガロード・ラン

<p>顔等の塗装色 薄茶色(100%)</p>	<p>シャツの塗装色 ホワイト(100%)</p>
<p>ジャケット 赤部の塗装色 シャインレッド(90%) + ウッドブラウン(10%)</p>	<p>靴の塗装色 ブルーグレー(100%)</p>
<p>ジャケット フリム色部の塗装色 ホワイト(100%) + イエロー(少量) + オレンジイエロー(少量)</p>	<p>首まわり、靴の塗装色 ホワイト(100%)</p>
<p>髪等の塗装色 ブルーグレー(50%) + ホワイト(30%) + インディブルー(10%) + デイトナグリーン(10%)</p>	<p>腕の塗装色 ホワイト(100%) + ピンク(少量) + すみれ色(少量)</p>
<p>ズボンの塗装色 ホワイト(80%) + ブルーグレー(10%) + インディブルー(10%)</p>	<p>髪等の塗装色 マホガニー(70%) + カラー(20%) + ホワイト(10%)</p>

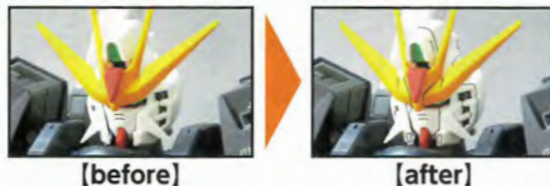
ティファ・アディール

<p>顔等の塗装色 ホワイト(100%) + ピンク(少量)</p>
<p>首まわり、靴の塗装色 ホワイト(100%)</p>
<p>腕の塗装色 ホワイト(100%) + ピンク(少量) + すみれ色(少量)</p>
<p>髪等の塗装色 マホガニー(70%) + カラー(20%) + ホワイト(10%)</p>

ワンポイントステップ ~One point step~

スミ入れしてみよう!

ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れするだけで見違えるような仕上がりになります。



[before]

[after]

GX-9901-DX GUNDAM DOUBLE X

TWIN SATELLITE CANNON

ツインサテライトキャノン

バックパックの左右に装備されたサテライトキャノン。SMW(スーパーマイクロウェーブ)を捕らえるリフレクターは6枚に増設され、新開発の冷却システムとも相俟って、さらに高効率での充電、照射に対応できるようになり、ガンダムXの数倍の威力を発揮するのみならず連射も可能となった。

COCKPIT

コックピット

コックピットへの昇降は、原型機と同様に胸部上面に設置されているハッチから行う。シート後部にはF(フラッシュ)システムのピックアップデバイスが装備されており、また、胸部前面装甲内にはSMW(スーパーマイクロウェーブ)とのリンクを確立するための照準用ガイドレーザーユニットが内蔵されている。本機の起動にはガンダムX同様にキーデバイスとなる“Gコントロールユニット”が必要であり、DX専用の“Gコン”も作られたが、ベースとなったガンダムXのGコンでも起動可能である。

BUSTER RIFLE

専用バスターライフル

ガンダムDX専用のビームライフル。徹底的に軽量化が図られており、取り回しが容易で内部構造もシンプルに構成されており整備性も高い。そのうえで、当時の標準的なビームライフルに数倍する威力を発揮する。



HYPER BEAM SWORD

ハイパービームソード



ガンダムDX専用の近接戦闘用の新撃装。サテライトシステムに対応したエネルギー供給能力に応じたガンダムXのビームソードよりも更に出力が向上しており、単機能としては実質的に当時最強の武装のひとつ。

※上記は劇中の設定です。

HEAD UNIT

ヘッドユニット

ガンダムXの基礎設計を基にセンサー類の小型化やインテーク周りの構造が見直されており、特にチーク部分の構造は放熱効果をも高めるような形状が変更されている。

BODY UNIT

ボディユニット

ガンダムXよりも出力が強化されたジェネレーターを搭載し、さらに肩部には各種の弾頭を射出可能なマルチパーパス仕様のランチャー砲“プレストランチャー”を装備している。

画像はバンダイプラモデルアクションベース1(別売り)を使用しています。

LEG UNIT

レッグユニット

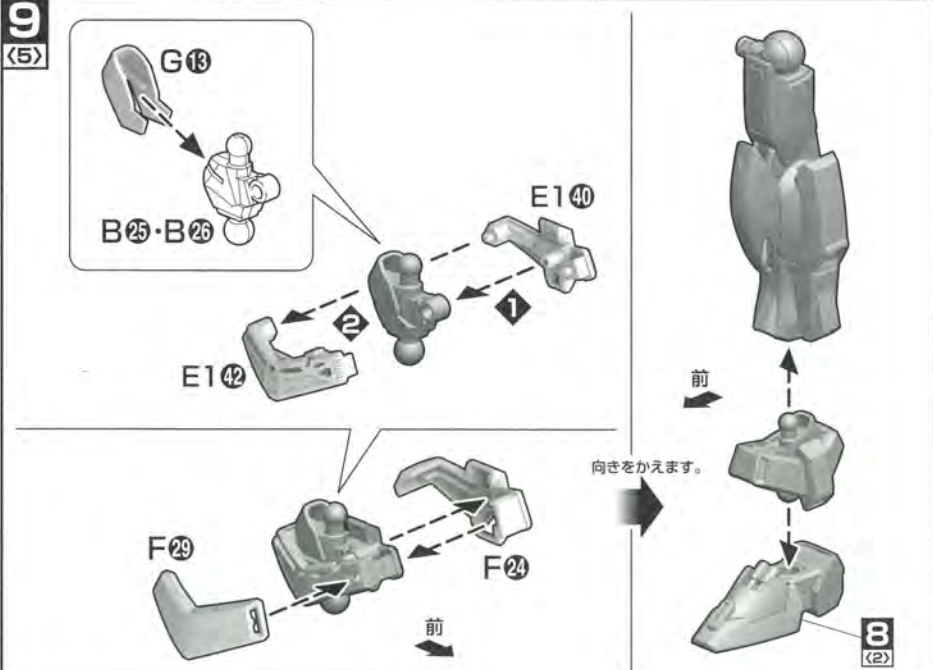
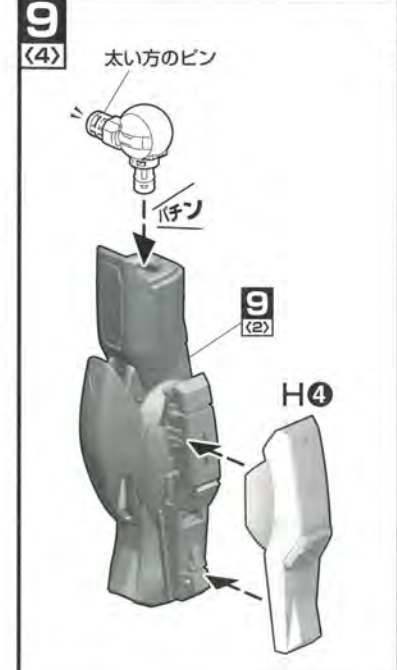
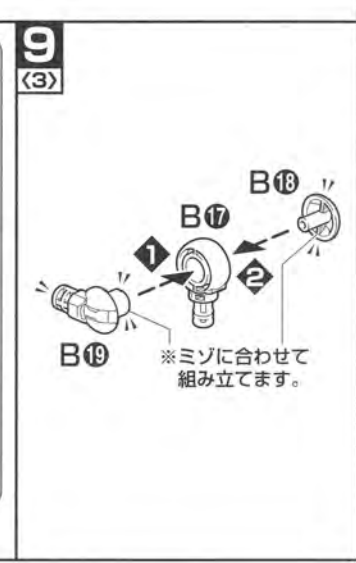
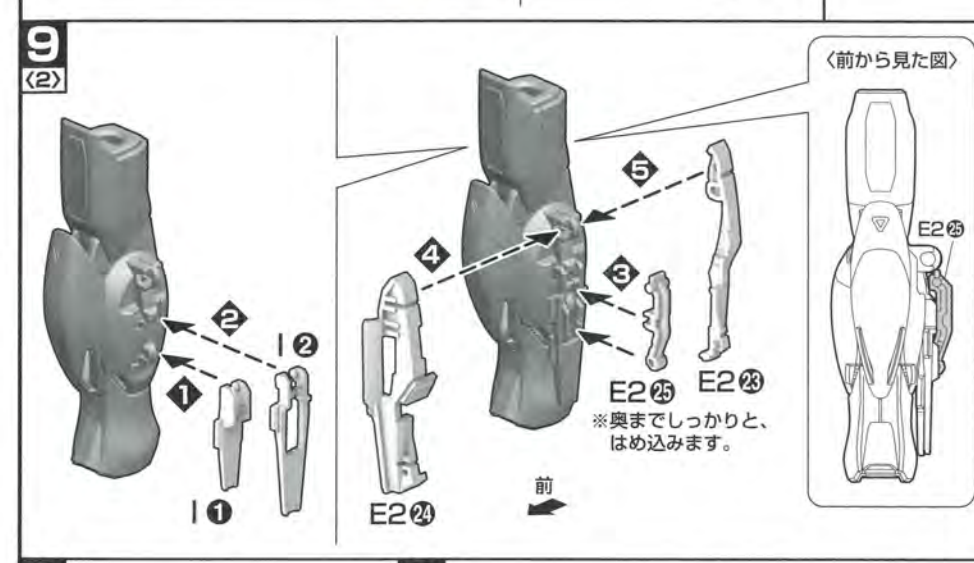
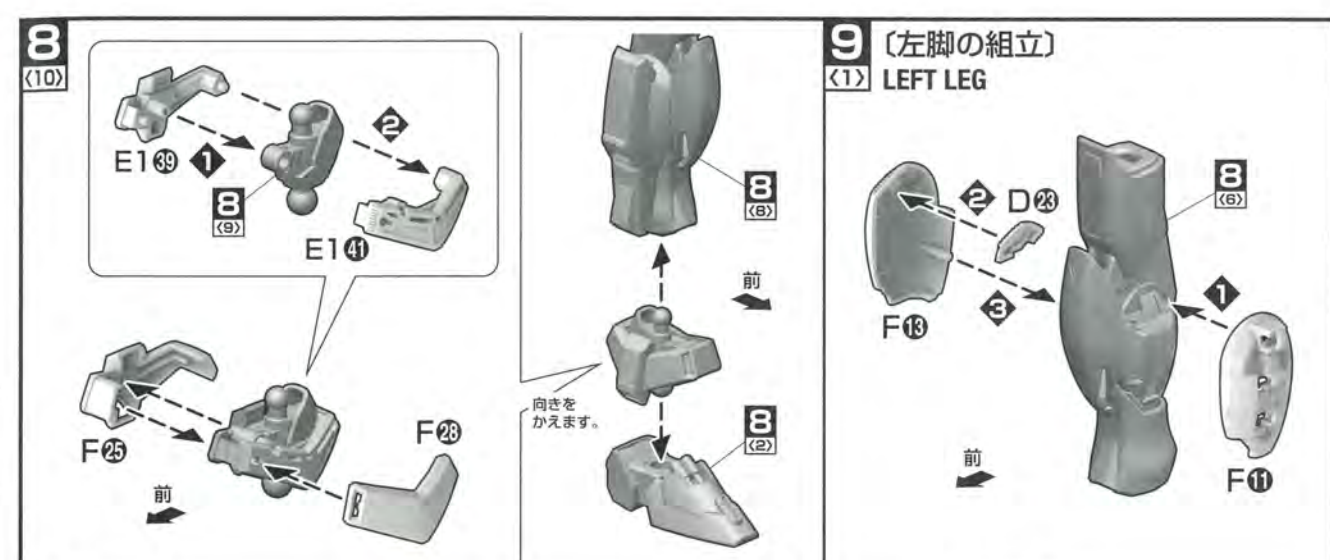
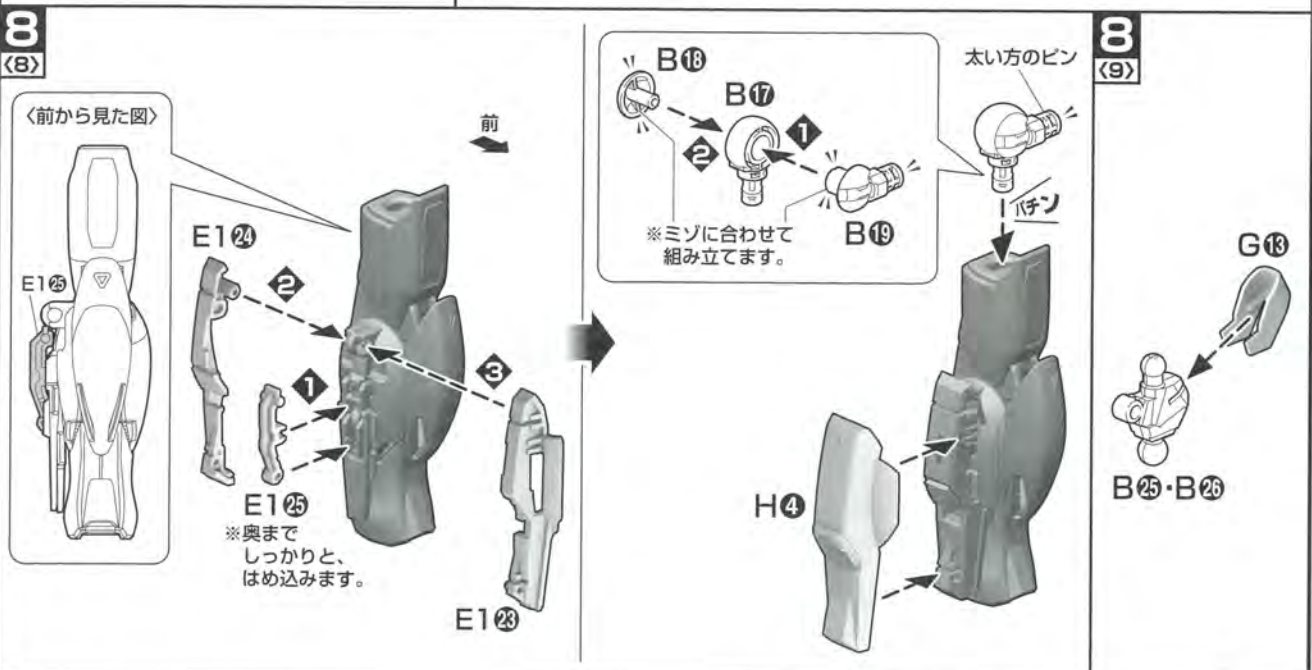
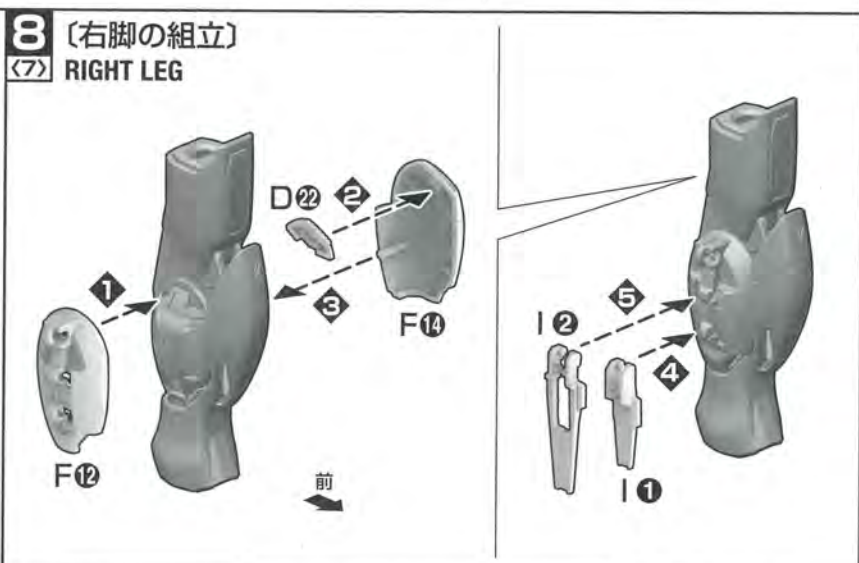
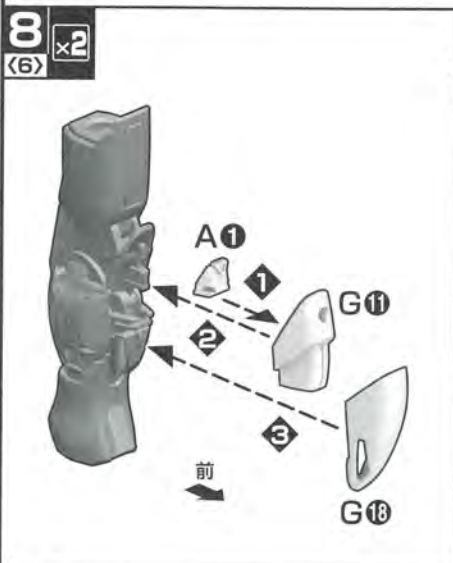
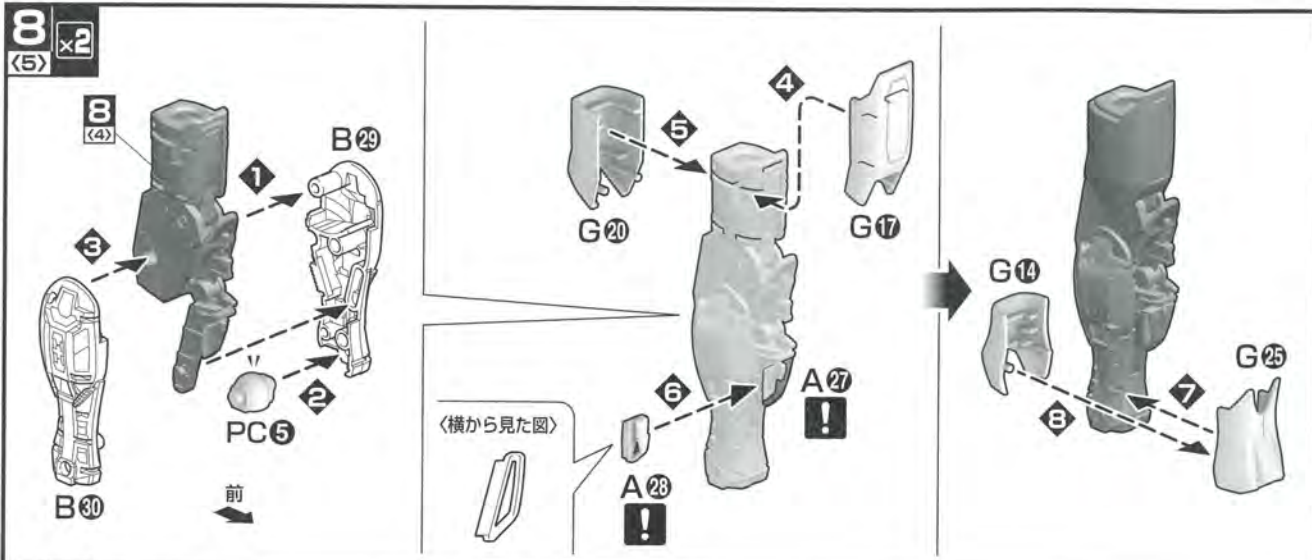
基本的な構造は原型機とほとんど変わらないが、各部に機動性を向上させるためのスラスターが増設されているほか、胸部と同様に“エネルギーラジエータープレート”が新設されている。これはリフレクターの大型化に伴って採用された新放熱システムを構成する主要デバイスで、サテライトキャノン稼働時には装備されたプレートが展開し、エネルギー回路に冷媒を添付して強制的に機体の潜熱を排出することで冷却効率を上げている。

DEFENSE PLATE

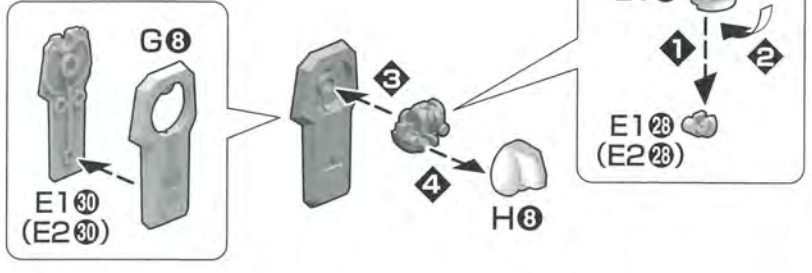
ディフェンスプレート

ガンダムDX専用の防御装備。機体の最終装甲にも採用されている軽量の強靭なルナ・チタニウム合金を使用しており、正規軍以外の武装勢力が装備する各種武器、武装では傷ひとつ付ける事さえ困難なほどの強靭さを誇る。





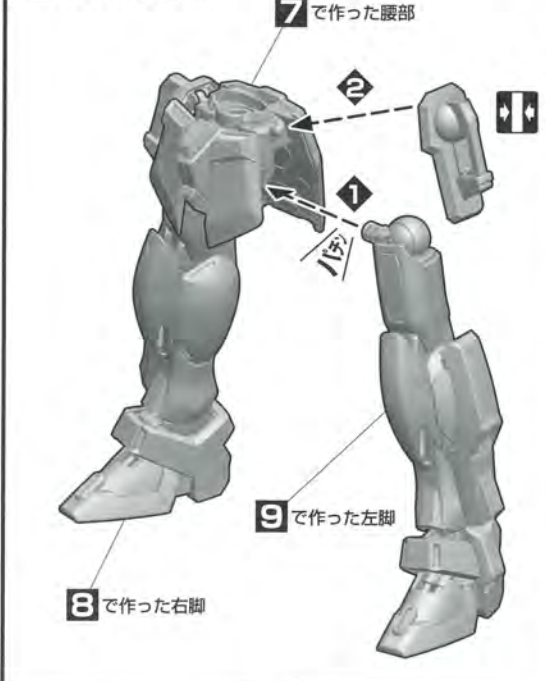
10 (1) x2



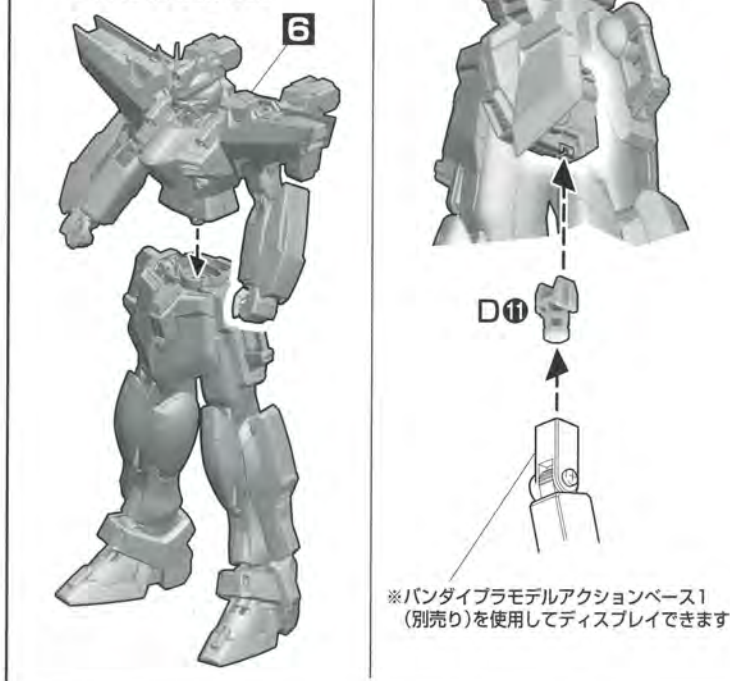
10 (2) x2



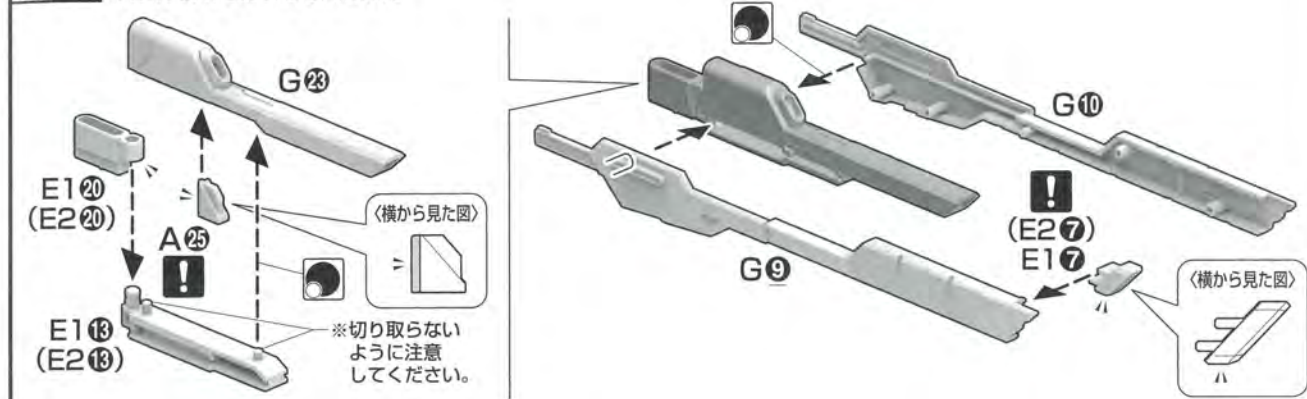
10 (3) LOWER BODY



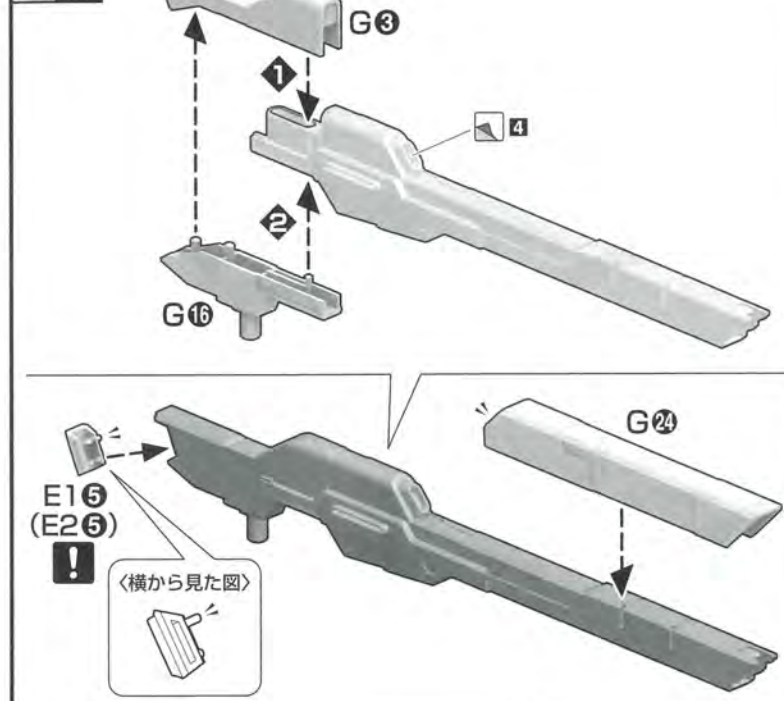
11 FINAL ASSEMBLY



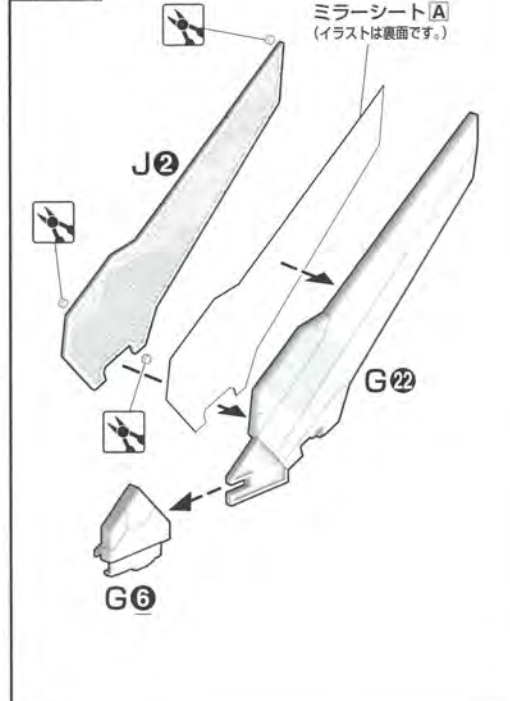
12 (1) TWIN SATELLITE CANNON



12 (2) x2



13 (1) x2



12 13 TWIN SATELLITE CANNON

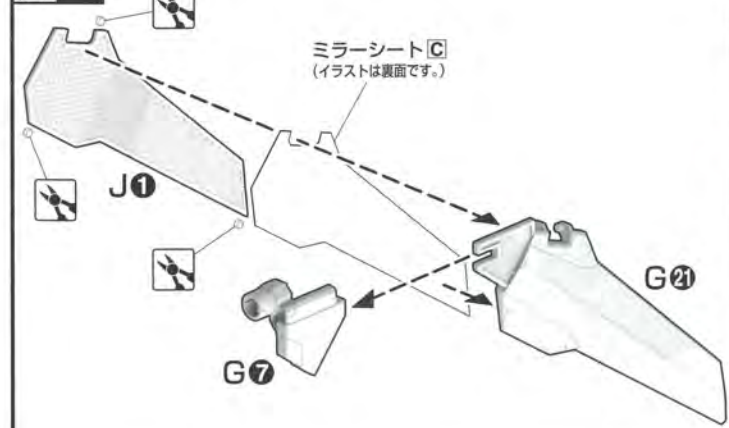


・組立 12・13 で使用するパーツ

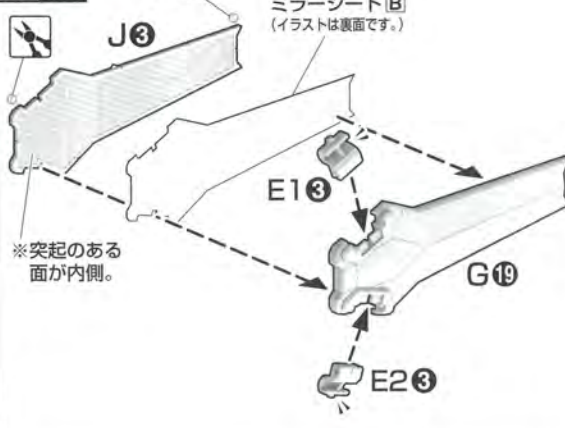
A(イロプラ)	E1(グレー)	E2(グレー)	F(ホワイト)
G(ホワイト) (x2)	J(クリアイエロー) (x2)		

・カラーシール
・ミラーシート

13 (2) x2

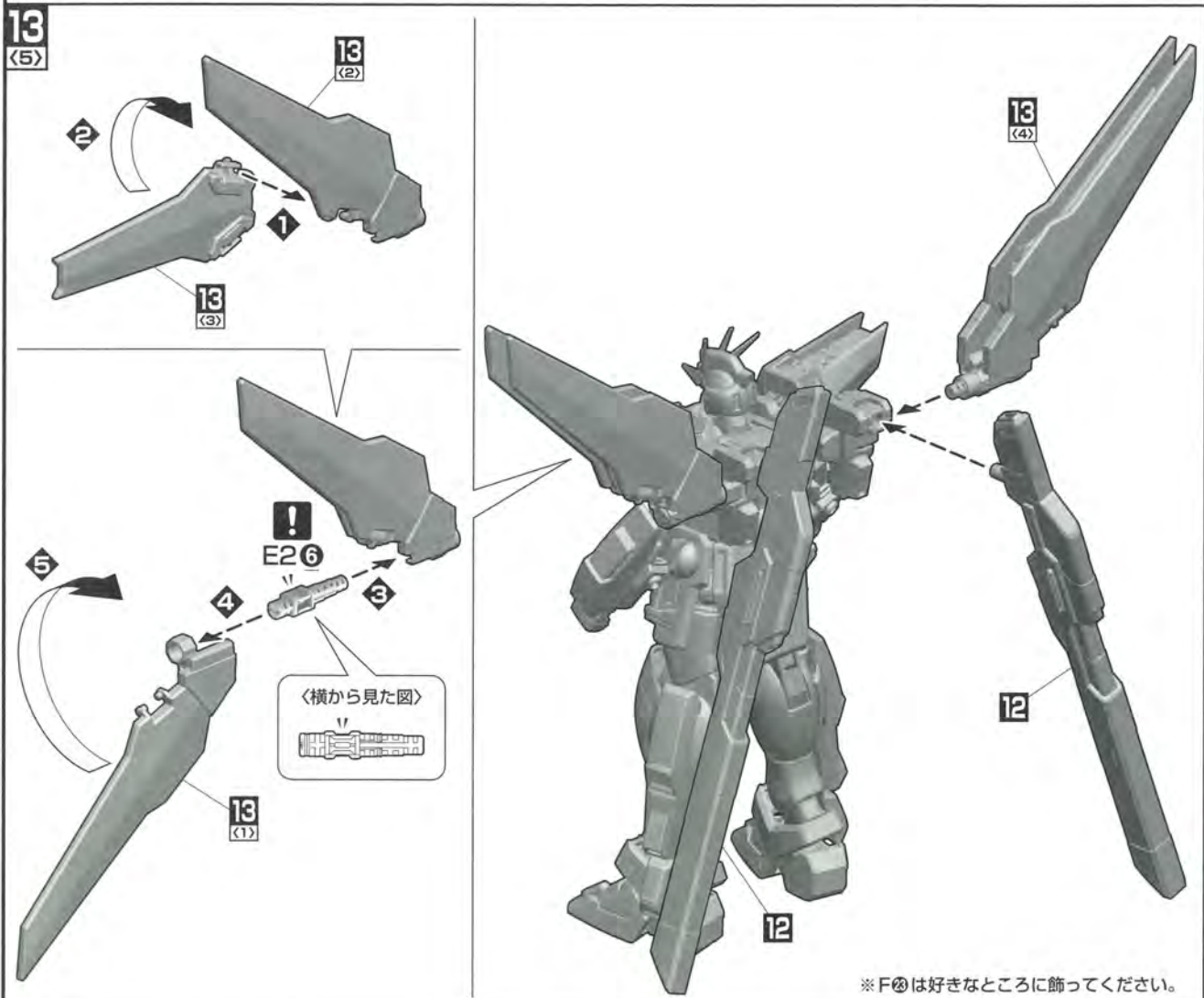
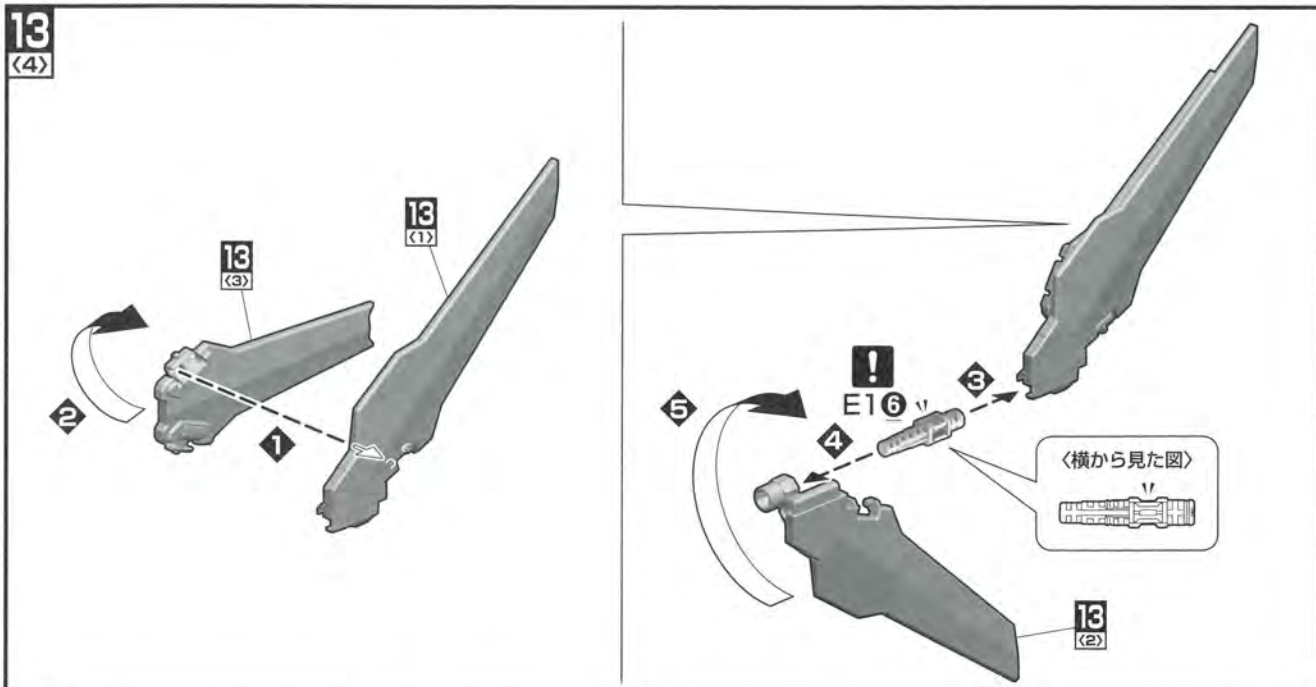


13 (3) x2



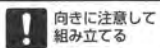
※組立図中の記号説明 x2 部品を数値の個数作る 両側に同じパーツを取りつける

※組立図中の記号説明 x2 部品を数値の個数作る ! 向きに注意して組み立てる 後ろから組み立てる シールの番号 切り取る部分



※F②は好きなところに飾ってください。

※組立図中の記号説明



・組立14・15・16で使用するパーツ

A(イロプラ)

C1(グレー)

D(グレー)

F(ホワイト)



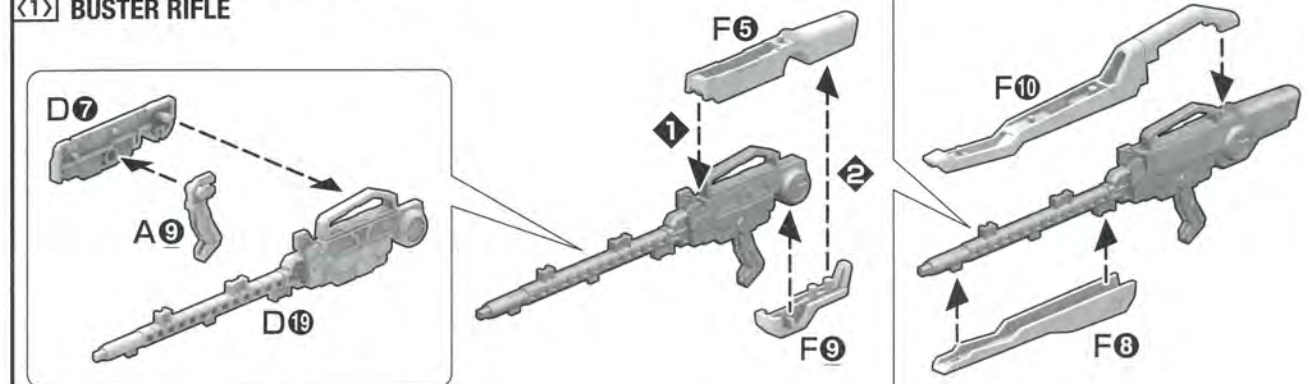
L(クリアグリーン) (×2)



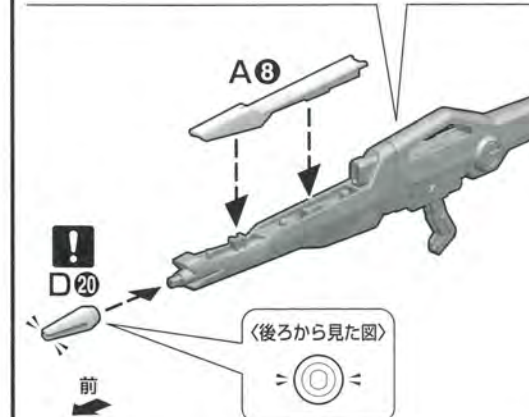
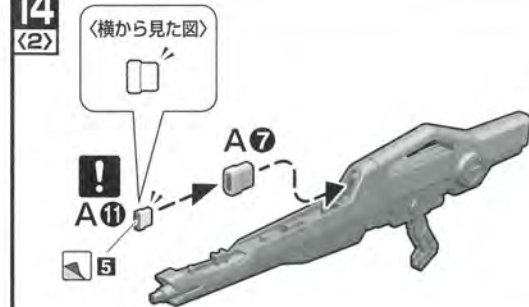
・カラーシール

14 [専用バスターライフルの組立]

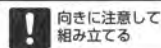
① BUSTER RIFLE



14
(2)

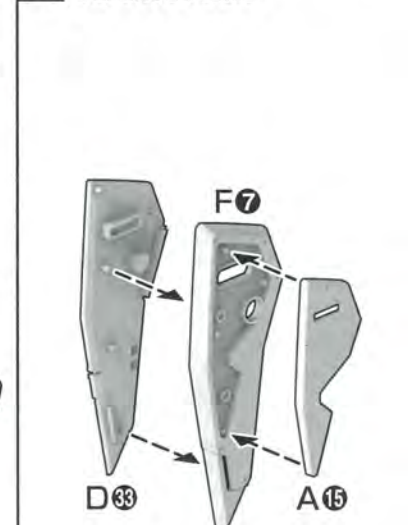


※組立図中の記号説明

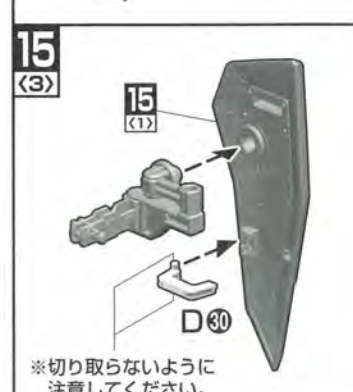
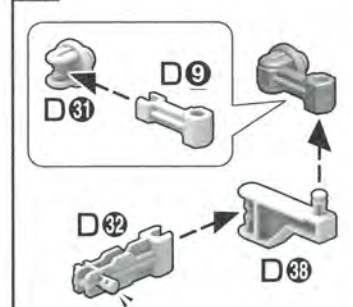


15 [ディフェンスプレートの組立]

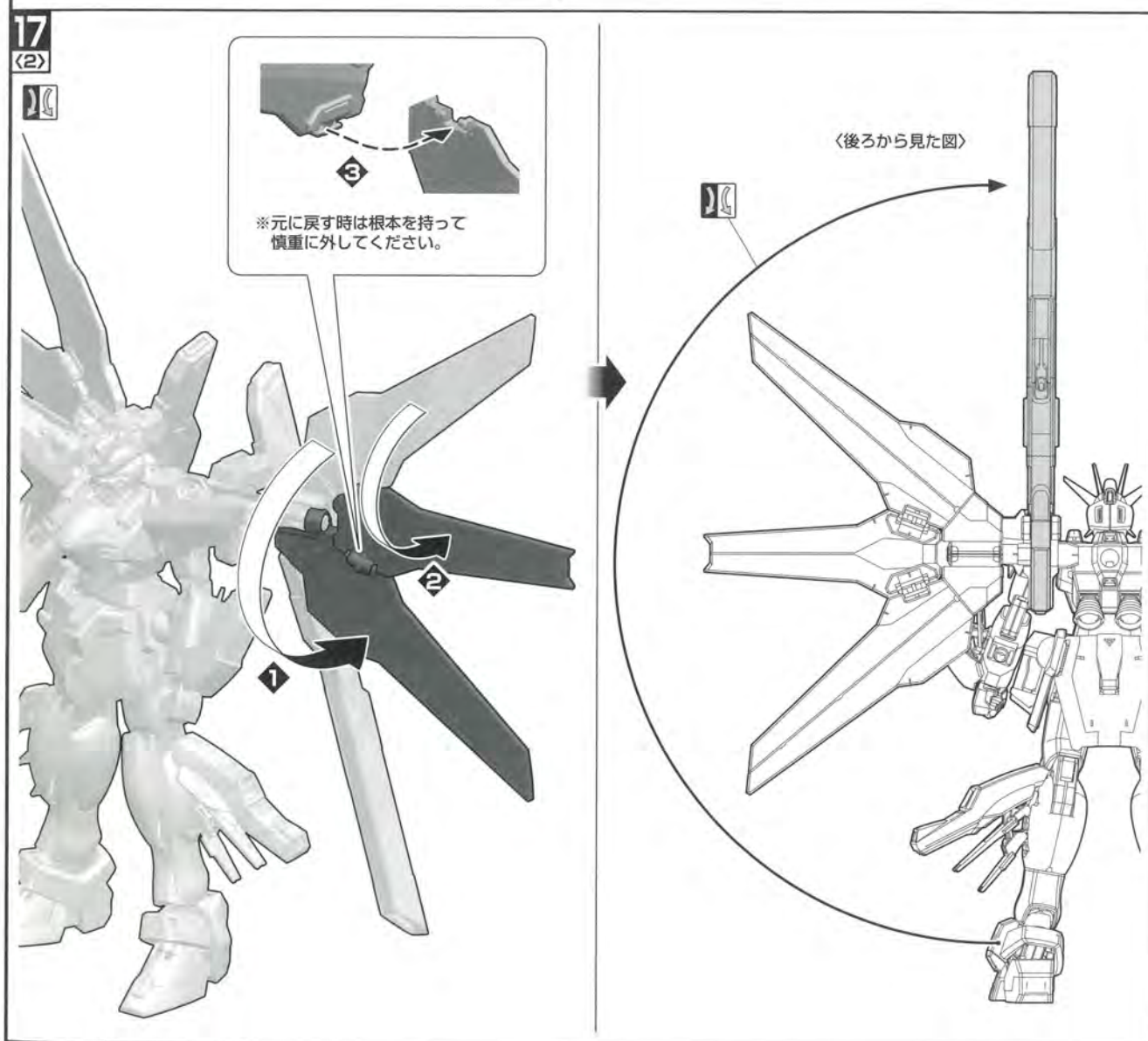
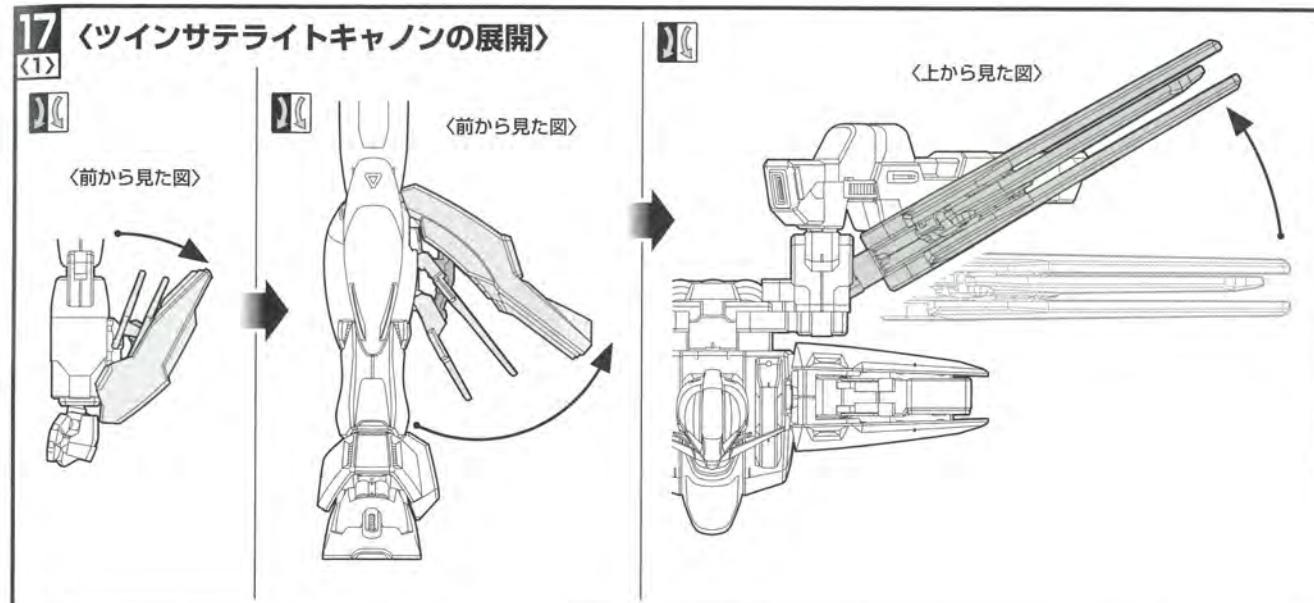
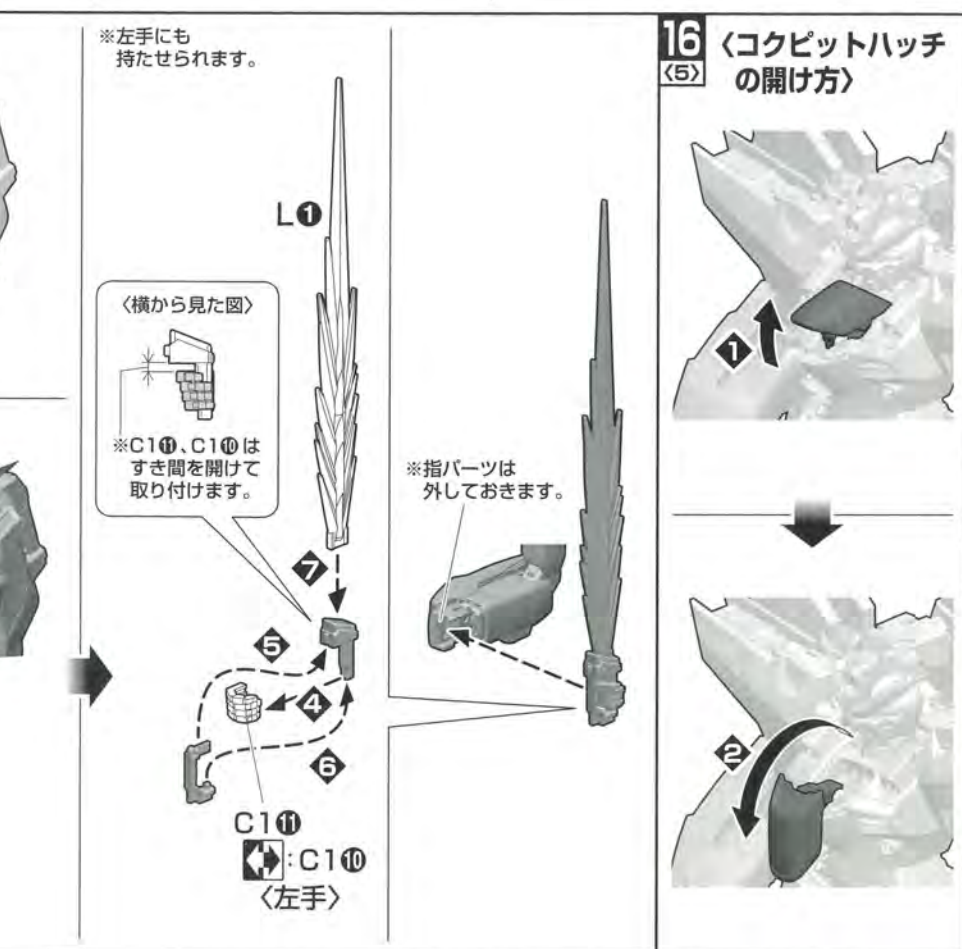
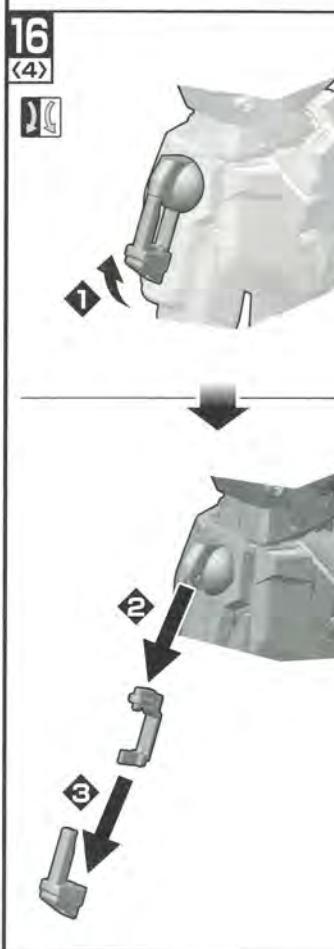
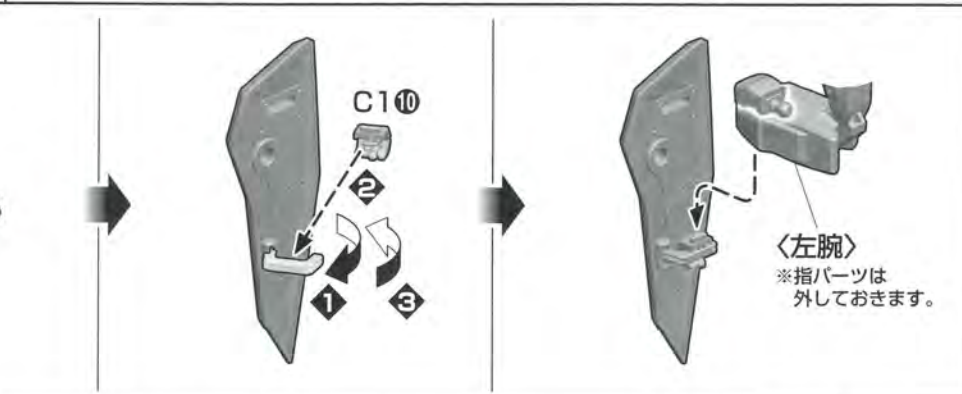
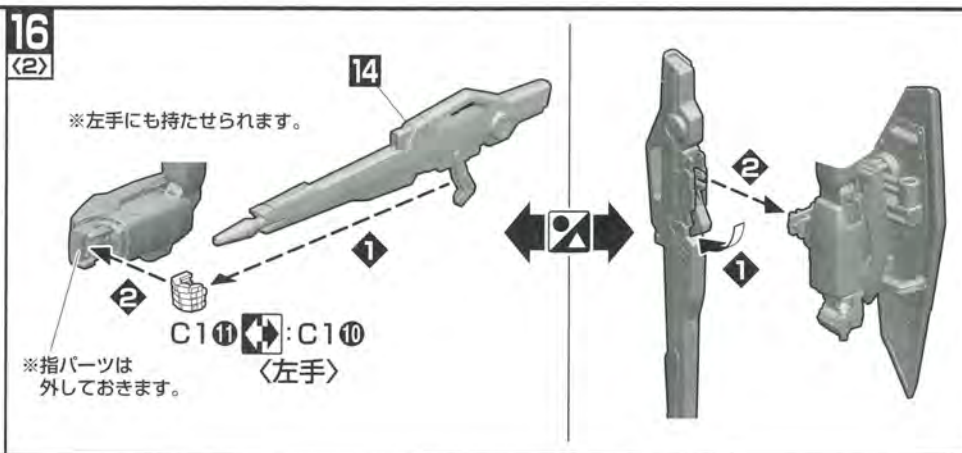
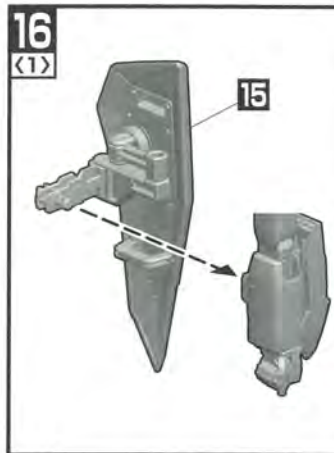
① DEFENSE PLATE



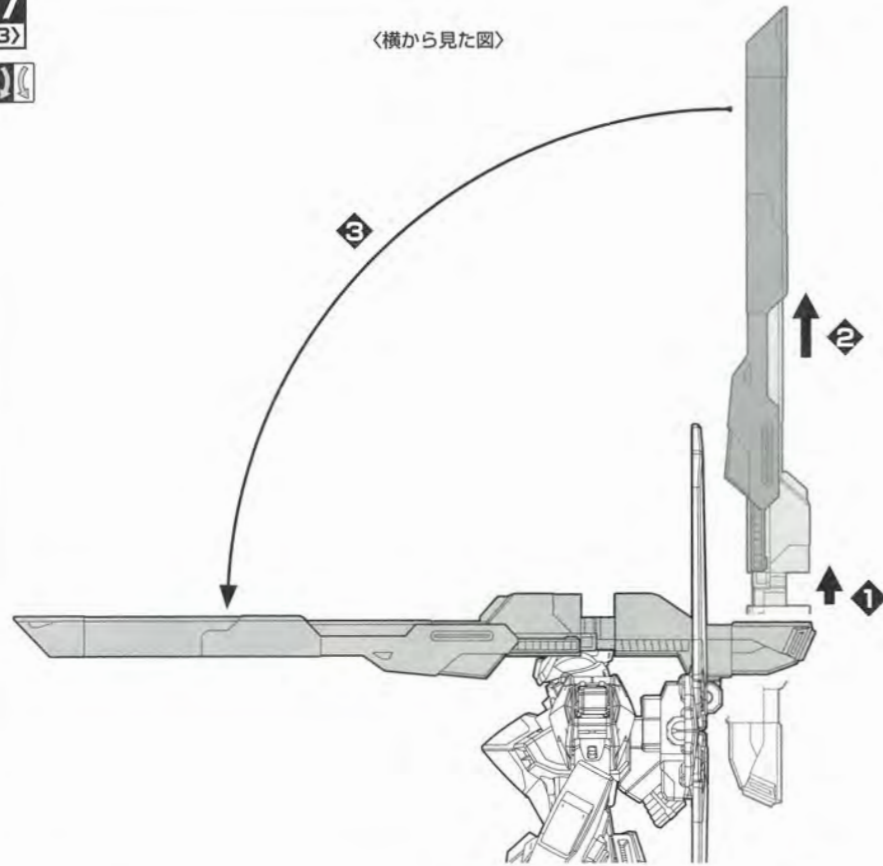
15
(2)



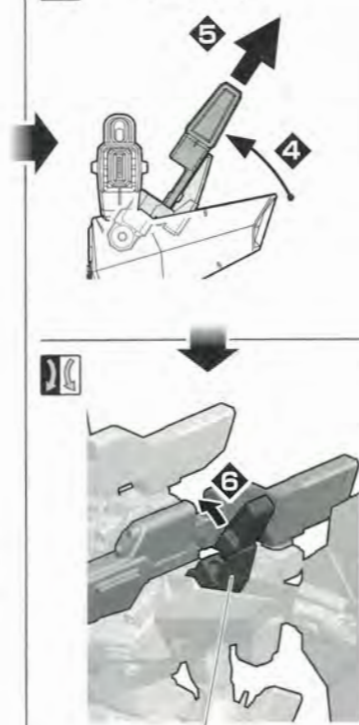
※切り取らないように注意してください。



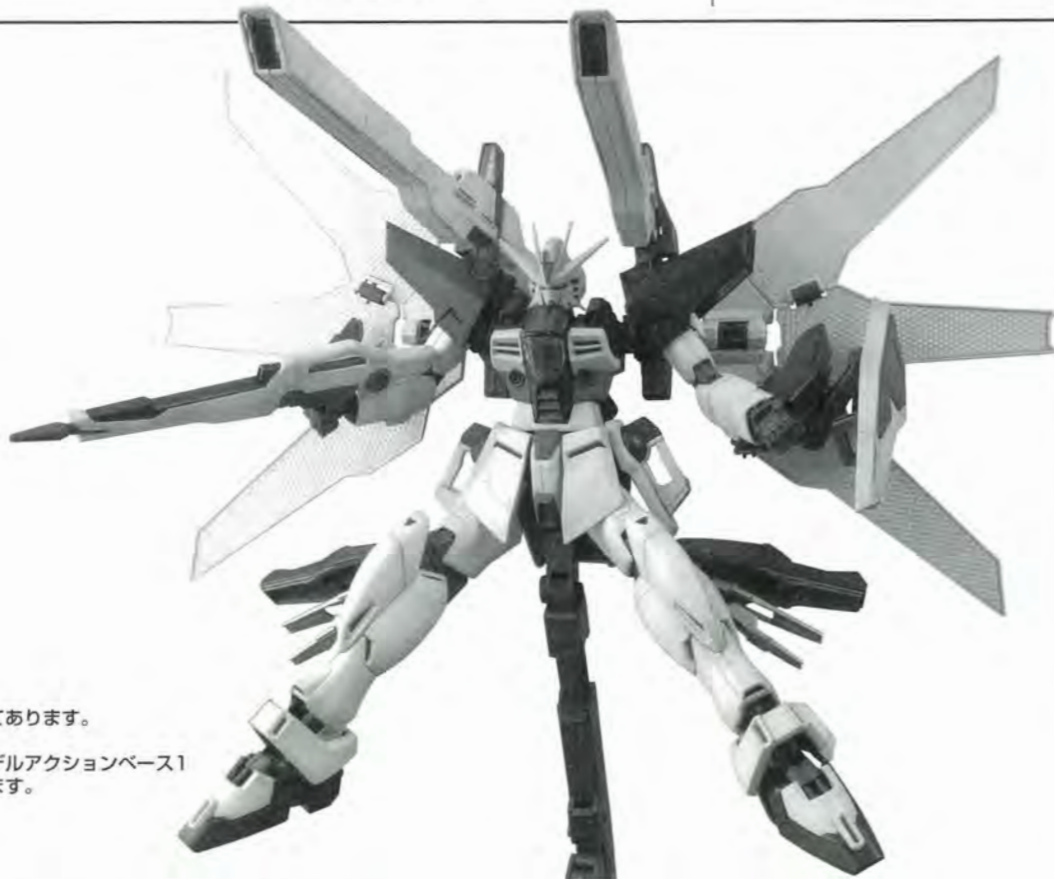
〈横から見た図〉



〈前から見た図〉



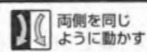
※この部分を持って動かしてください。



※画像の完成品は塗装してあります。

※画像はバンダイプラモデルアクションベース1 (別売り)を使用しています。

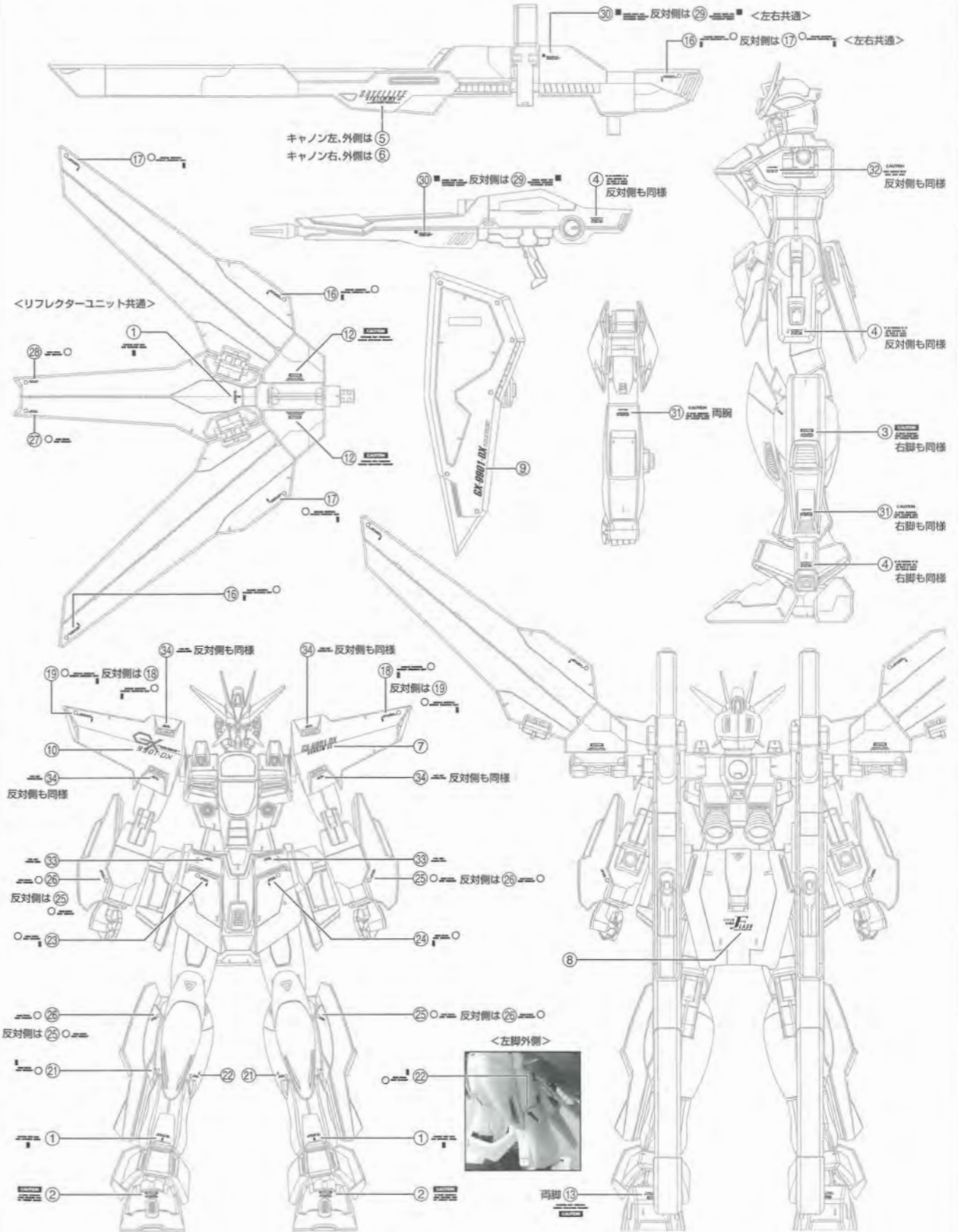
※組立図中の記号説明



Seal

(シール) 下の図を見て、マーキングシールの貼る位置を確認してください。

このマーキングシールはプラモデルオリジナルのものです。貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールは好きな所に貼ってください。※説明のため、一部画像を省略しています。※画像と実際の商品とは多少異なります。